

「歩くまち・京都」総合交通戦略に関する新聞記事

平成 22 年 4 月～平成 22 年 12 月

平成 22 年 4 月	P 1
平成 22 年 5 月	P15
平成 22 年 6 月	P27
平成 22 年 7 月	P34
平成 22 年 8 月	P45
平成 22 年 9 月	P51
平成 22 年 10 月	P56
平成 22 年 11 月	P75
平成 22 年 12 月	P87

京都市人事

業務の継続性を重視

地下鉄再建でこ入れ

解説

京都市が掲げた計画達成は容易でない。このため、交通局に営業担当の部長級ポストを新設し、都市計画局と調整しながら地下鉄と市バスの増客を目指す。連結決算導入で公営企業の成した。手始めに外国

赤字が市本体にも影響するだけに、部局間の連携強化が求められる。「歩くまち京都」の推進でも局を超えたプロジェクトチームを編成した。手始めに外国

語や景観などに配慮した観光看板の設置で、産業観光や都市計画など8局と市教委が協力するが、「縦割り」排除が課題になる。議会対策を担当する行財政局長、総務部長

京都市、2本部を新設

地下鉄増客、歩くまち 部局横断で編成

「地下鉄経営再建」に部長級ポストを新設するなどでこ入れも図った。

係長級以上の異動規模は前年度比1割減で、局長級は同4割減の15人だった。昨年度は10年ぶりの局再編を行ったこともあり、腰を据えて取り組み姿勢を示したとされる。

京都市は1日、市営地下鉄の健全化計画を達成するための増客推進本部と、公共交通優先のまちづくりを実現する「歩くまち・京都」推進本部を立ち上げた。両本部とも由木文彦副市長を本部長に局横断で編成した。

市は2018年度までに市営地下鉄の1日当たりの乗客を5万人増やす目標を定めた。推進本部は局長級35人で発足。四条通のトラジットモール化や東大路通の歩道拡幅、JR京都駅八条口広場整備の3部会を設置し、社会実験案を検討したり、地元や京都府警など関係機関と協議する際の方針を決める。

（竹下大輔、小野俊介）

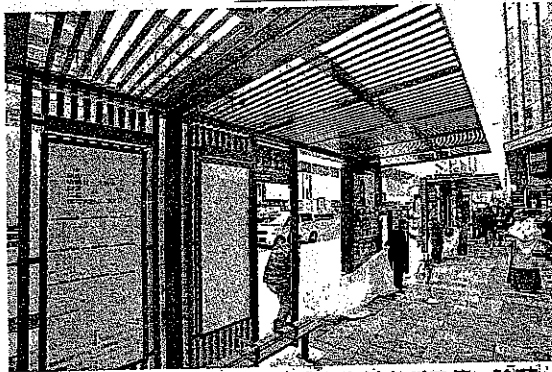
が同時に交代したことも特徴だ。2月市会で市長与党の自民党が市立看護短大廃止案の否決に回るなどぎくしゃくしたこともあり、人事刷新で関係修復に取り組み姿勢をとったとみられる。

（竹下大輔）

京都新聞

市交通局

京町家風バス停登場 広告パネル付き、民間委託



京町家をイメージした広告パネル付きバス停。除幕式で披露された(5日午前10時15分、京都市下京区)
—撮影・坂本佳文

京町家風にデザインした広告パネル付きバス停留所が京都市内に完成し、下京区の京都産業会館前で5日、記念式典があった。広告付きバス停は、市交通局が設置と維持管理を民間企業に委託している。経費はすべて広告収入で賄う。

この日までに、西大路四条と四条烏丸のバス停6カ所に設置された。京都産業会館前のバス停は高さ2・8メートル、幅9・1メートルで、千本格子をイメージした屋根が設けられている。式典では、門川大作市長や委託企業の社長ら5人がテープカットし、広告パネルの除幕を行った。市交通局は5年以内に400カ所で広告付きバス停を設置する、としている。

(小野俊介)

バス停に京町家の風情



広告パネル登場 収入で維持管理

京都市営バス

京町家をイメージした広告パネル付きの京都市営バスの停留所が完成し、5日、記念式典が下京区であった。市と契約した企業が広告料収入で設置・維持管理費をまかなう。経営難にある市バス事業の経費削減をはかる。

バス停は町家の千本格子をかたどったデザイン。広告パネルは縦190センチ、横130センチで、2週間に1回程度のペースで張り替えるという。この日までに四条烏丸や西大路四条の6カ所に設置。市内のバス停約1560カ所の新設された広告付きのバス停留所は下京区。

うち今年度は80カ所、5年間で400カ所の設置をめざす。

事業は、三菱商事とフランスの屋外広告会社が設立した「エムシードウゴ」(東京)が担う。門川大作市長は「京都の街並みに溶け込むデザインだ」と喜ぶ。

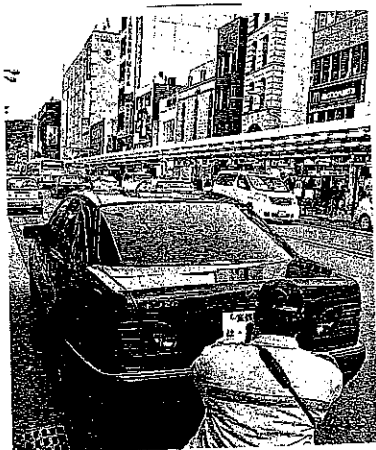
市バス事業は、昨年度決算見込みで98億円の不良債務を抱えており、経営健全化に取り組んでいる。

朝日新聞

「違法駐車ダメ」 繁華街で指導

京都市・五条署

交通量が増える観光シーズンを迎え、京都市と五条署は違法な駐車車が目立つ市内の繁華街で、運転手らに違法駐



市と府警の合同指導で、違法駐車車の車を確認する駐車監視員＝下京区の四条通

車をやめるよう呼びかける合同指導に乗り出した。
初日の2日に指導した区域は、四条通（烏丸通～木屋町通間）と河原町通（四条通～御池通間）。買い物客や客待ちタクシーなどによる違法な駐車車が後を絶たないことから、市は京都駅周辺と同様に「違法駐車等防止重点区域」に指定している。

市と府警は昨年からは京都駅周辺で合同指導をしているが、今回の区域では初めて。今後も月1回のペースで続けていくという。

口南口
備整
京都駅再

駐車場廃止し広場に

京都市が素案、意見募る

京都市は12日、京都駅前広場(南区)の再整備に向け、歩行者用広場を確保するた
めに駐車場を廃止して、5月10日まで素案
車道を狭めるなどの計に、5月10日まで素案
画素案をまとめた。デ集し、今夏をめどに計

画素案をまとめる。

南口駅前広場は観光
バスの駐車スペースや
歩行者がくつろぐ空間
が少なく、6車線
ある八条通で駅と駅南
側のまちが分断される
課題があり、「京都の
玄関口」として再整備
が求められていた。
市は1996年以
降、タクシ乗り場や
八条通上へのデッキ建
設や八条通をまたぐ陸
橋建設などの計画を打
ち出したが、いずれも
巨額の建設費がネック
となり頓挫していた。
新計画素案では建設
費抑制のため、地上部
分の有効活用で転換
し、現在40台分のパー
キングチケット駐車場
を廃止する。駅前の6
車線ある八条通は交通
量が少なく、現状はタ
クシーや観光バスの待
機に使われているた
め、1-2車線減らし、
バスやタクシの専用
レーンなどに改める。
関係団体などによる
協議会をつくって計画

案をまとめ、2013
年度の着工を目指す。
市民の意見は市歩くま
ち京都推進室ホームペ
3。(小川卓宏)

京都市 京都駅南側を再整備 バス・タクシ乗り場を集約

京都市は12日、JR京
都駅南側の駅前広場を再
整備すると発表した。駅
前の道路「八条通」の車
線数を減らし、コインパ
ーキングも廃止するの
が、歩行者や公共交通を
利用する人の利便性を
高める対象になる。現
在は6車線ある八条通を2車線以上削減し、違法駐車や渋滞の起きにくい動線を整備する考え。バス会社やタクシ会社などと協議したうえで、2013年度の着工を目指す。
従来、京都駅の南側には路線バスや観光バスの乗り場が分散しており、観光客などから分りにくいという声が上がっていた。公共空間をどういった形態にするかは未定で、意見を公募したうえで決めるという。

京都駅南口広場

リニューアル案

京都市発表、意見募集

京都市は12日、JR京都駅南口駅前広場のリニューアル計画を発表した。駅南側の八条通の一部を広場に組み入れ、既存の駐車場(40台分)もなくして面積を確保し、歩行者がゆったり歩けるスペースをつくる。市民からの意見を5月10日まで募っている。

市歩くまち京都推進室によると、現在の駅前広場は八条通を挟み、京都駅前とアバンティ側に分かれた計8800

平方メートル。新幹線が開通した1964年に整備したが、無機質な印象で「古都の玄関口」としてふさわしい景観ではなくなっている。

また、八条通の交通量は6車線が必要とするほど多くはなく、周辺には民間の駐車場

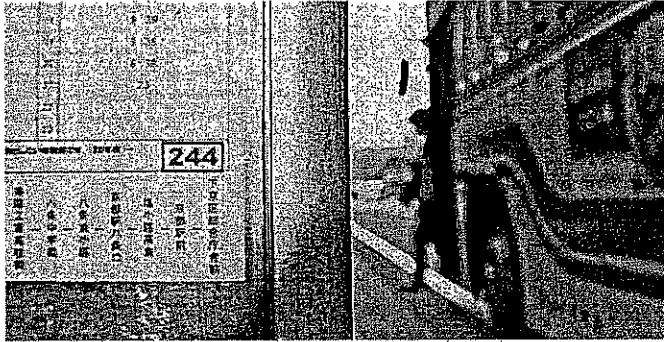
もあるため、既存の駐車場をなくしても可能と判断したという。

市は今年夏ごろに整備計画を策定し、2013年度に着工したいとしている。問い合わせは同室(075・222・3480)へ。

100円得るのに経費

これだけ

深刻な赤字路線のバス停に表示された営業係数。100円の収入に244円の経費がかかっている(京都市下京区)



赤字度合い
バス停に表示
赤字で

経営健全化が急がれる京都市バスの経営状況を利用者に知ってもらおうと、市交通局は深刻な赤字路線のバス停留所約900カ所に赤い文字で営業係数を表示した。「赤字の実態を数字で示すことで、少しでもバスに乗ってくれる人が増えれば」と期待している。

営業係数は100円の収入を得るのに必要な経費を表し、100を超えれば赤字を表す。2008年度決算をみると、全74系統のうち60系統で100を、17系統で200を超えている。最も営業係数が高いのは、南1号系統(竹田駅西口―桂駅東口)の330だった。

このうち、深刻な赤字を抱えている17系統のバス停約900カ所に営業係数を

利用増のきっかけに

示すシールを張った。係数は赤字路線の時刻表の下に目立つように赤い文字で書かれ、「右の数字はこのバスが100円の収入を得るために必要としている費用です」などの説明文を掲載している。下京区役所前のバス停で待っていた主婦の木藤富子さん(38)は「自分が普段乗っているバスが赤字と知って驚いた。路線がなくなると困るので、なるべくバスに乗るようにしたい」と話していた。

市バスは昨年、地下鉄とともに経営健全化団体に指定された。2015年度までの健全化計画を達成するため、1日当たり乗客を08年度に比べ4千人増やす目標を掲げている。

(小野俊介)

エコ通勤義務化を検討

京都市、大規模事業者に

京都市は市内で活動する大規模事業者に対して、従業員に公共交通機関でのエコ通勤を勧める取り組みの義務化を検討していることが14日、わかった。同日行われた「歩くまち・京都」推進本部会議で明らかになった。

市は平成16年12月、地球温暖化対策条例を制定。この中で、一定規模以上の運送業やサービス業などの事業者に対し、温室効果ガス排出削減への取り組みを示す報告書の提出を義務づけていた。

市は同条例を改正し、報告書のなかに従業員のエコ通勤に対する取り組みを盛り込む

ことを検討。パブリックコメントを行った上で9月定例市議会に案を提出し、可決されれば22年4月から施行する予定という。

市によると、現在対象になるのは148事業者。今のところ、罰則規定を設ける予定はないが、実績の悪い社に対しては対策を立てるよう要請し、対策を怠った場合は社名を公表するなどの措置も検討しているという。

市は「温室効果ガスの削減が難しい産業の事業者に対する新しい評価項目ができれば」としている。

マイカー自粛エコ通勤

京都市方針 大規模事業者に呼びかけ

歩行者と公共交通優先の街づくりを目指す京都市の「歩くまち・京都」推進本部会議が14日開催され、市内の大規模事業者に対し、通勤時のマイカー利用を控えてもらう「エコ通勤」を呼びかけていく方針を明らかにした。

市地球温暖化対策室によると、現在も毎月16日にノーマイカーデーを実施し、約90の事業者が協力している。さらなる温室効果ガス排出削減のため、市内に約150ある大規模事業者に毎日のエコ通勤を広げていくこととし、見直しを進めている。

ている市地球温暖化対策条例や同計画にも盛り込む検討を進めているという。

同室は「環境負荷軽減と公共交通の利用促進が図れる。事業者にとっても、社員のための駐車場を別の用途に使えるなど利点があるのではないか」としている。

マイカーから公共交通に

「エコ通勤」義務化検討へ

京都市は14日までに、大規模事業所などを対象に、マイカー通勤をやめて公共交通を利用する「エコ通勤」を義務付ける検討を始めた。市地球温暖化防止条例の改正も視野に入れる。義務化されれば政令指定都市で初めてとなる。審議会で検討を踏まえ、来年4月

京都市が企業、大学に 条例改正も視野

以降の実施を目指す。義務化の対象は、温室効果ガス削減のため、市条例で3年ごとに排出量削減計画書の提出を義務付けている一定規模以上の事業所。現在は、企業や大学など148ある。

計画書は「エネルギー効率」「再生可能エネルギー」などの項目ごとに目標や具体策などを細かく記入する。条例改正が規則の変更で、項目に「エコ通勤」を追加するなどの形で義務化を目指す。罰則は盛り込まない見通し。

市地球温暖化対策室は「事業者側には駐車場確保が少なくて済む利点もある。環境面だけでなく、公共交通の利用促進で財政難の地下鉄の支援にもつながりたい」としている。

市は条例に基づき、温室効果ガスを1990年比で2010年までに10%削減する目標を掲げるが、07年で6%減にとどまり、達成への壁は高い。30年には40%削減を打ち出しており、今後、具体策を示して企業や市民に協力を求める方針で、エコ通勤の義務化もその一環だ。(小川卓宏)

地下鉄「5万人」計画キックオフ

両推進本部は、市が最大の行政課題とする2施策に局横断で取り組むため、1日に発足

京都市は14日、経営健全化団体になった市営地下鉄の「5万人増客」推進本部と、公共交通優先のまちづくりを目指す「歩くまち・京都」推進本部の初会合を中京区の市役所で開いた。地下鉄の増客に向けて各局、区役所にアイデアを募り、健全化計画上半期の2013年度までの増客計画を策定することを決めた。

推進本部初会合

京都市営地下鉄の増客策を議論した「地下鉄5万人増客推進本部」の初会合(京都市中京区・市役所)



局横断で「名案求む」

市主催イベントを地下鉄沿線に集約するなど各局、区役所ごとに案を募集し、計画中間点までの増客計画を立てる。5月を「キックオフ月間」として、利用促進を集中的に訴えることを決めた。

「歩くまち・京都」の会合では、環境に優しい生活スタイルへの転換を図るため、家庭や学校の授業などで意識改革を行う「スローライフ京都大作戦」の実施を決定した。成人式や運転免許更新時などの広報も強化する。

由木副市長は会合で「5万人増客は必ずやり遂げる。困難な課題だが、最初から達成できると思われる目標は、目標とはいえない」と話した。

(竹下大輔)

増客へ京都市総力

「歩くまち」へ公共交通利用促進

「通勤に義務付け」提案

京都市、推進本部初会合

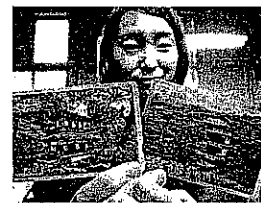
歩行者や公共交通を優先としたまちづくりを進める京都市の「歩くまち・京都」推進本部の初会合が14日、同市役所で開かれた。本部長の由木文彦副市長

市は1月、健康や環

境に配慮した社会を目指すため、脱クルマ社会や公共交通利用の促進、歩行者優先道路の整備などを盛り込んだ「歩くまち・京都」総合交通戦略を策定。市幹部で作る推進本部と、学識経験者や関係機関で作る推進会議での議論を中心に、具体的な

施策を進めていく。この日、会議では、大量の二酸化炭素を排出したり、多くの車を保有したりする事業者に、通勤に公共交通を利用するなどの取り組みを条例で義務付ける案や、京都らしいぜいたくな観光スタイルとして「歩くまち」をP

Rする案などが出た。
【田辺佑介】金閣寺銀閣寺「京カード」に京都仏教会取り組み賛同京都市は金閣寺と銀閣寺の写真をデザインに取り入れたフリーペイドカード「トラフィカ京カード」を作製した。写真、京都仏教会(有馬頼底理事長)との共同企画で、第一弾とし



て両寺院の住職を務める有馬理事長の揮毫を採用したデザインを合わせた計4種類を発売する。今後、別寺院のパーションも販売すると

いう。「歩くまち・京都」を掲げ、地下鉄や市バスの利用を促す市の取り組みに同仏教会が賛同した。17日から、地下鉄各駅の券売機や地下鉄・バス案内所など従来の売り場の他、両寺院内の売店でも販売

する。希望者には、市内の観光マップを記載した台紙も案内所や売店で配るといふ。カードは、市バスが地下鉄に乗り換える際、額面より1割分多く利用できる。乗り継ぎ時には割引も適用される。
【田辺佑介】

パークアンドライド

ケータイで駐車場情報



京都市はこのほど、パークアンドライドの駐車場を公開していたが、通年で案内する携帯版のホームページ（HP）を開設した。携帯電話で情報が入手できることで、渋滞に巻き込まれた車内からでも手軽に駐車場を探索できる。

京都市は11月だけ携帯版HPを公開していたが、通年で案内する携帯版のホームページ（HP）を開設した。携帯電話で情報が入手できることで、渋滞に巻き込まれた車内からでも手軽に駐車場を探索できる。

京都市、HP開設
や八幡市など6市町14駐車場を掲載している。
嵐山の西部方面、東山の東部方面の2地域に分け、場所、料金、公共交通機関の最寄り駅を記した。HPには京都市の携帯サイト「京都市情報館」からアクセスできる。（竹下大輔）

京都駅南口

京都市は、京都駅南口(南区)の再整備素案を発表した。駐車場やタクシー・バス乗り場が広がる南口は、京都タワーというシンボルがある北口と比べ、「駅裏」の印象もあるため、正面に観光客らの憩いの場となる駅前広場を整備し、イメージを一新させる構想だ。駅南側の東西を走る八条通も車線を減らし、タクシーを駅前広場に作り替える。観光客らが安心して行き交える歩行空間とし、修学旅行などの団体観光客の集合場所としても活用してもらう。

現在、八条通は6車線(片側3車線)が確保されているが、南北両端の1車線はタクシーやバスの待機が常態化。その一方で、付近が深刻な渋滞を引き起こす事態にはな

再整備憩いの広場へ

1. バスが乗降しやすい専用通路を作る。再整備は2013年度の着工を目指すという。

市歩くまち京都推進室によると、現在、南口の正面にあるタクシープール(66台分、約1800平方メートル)と自家用車用の有料駐車場(40台分、約1100平方メートル)のスペー

ていないことから、4車線程度まで削減し、駅に向かうバスやタクシーが使用する専用通路を設ける考えだ。マイカーの送迎スペースの設置も検討するという。

市は、市民意見の募集を始めており、関係事業者らの意見も聞いた上で、夏頃に整備計画を決定する。

京都市素案 八条通にバス乗降専用路も



京都市が駅前広場やタクシー・バスの専用通路などの整備を検討している京都駅南口と八条通(右手前)(南区で)

読売新聞

「くつろげる広場を」

京都駅南口 市民の意見募集

市が構想

構想は各区役所などで配布するほか、市ホームページでも閲覧できる。

きる。構想の是非や、広場のあり方などについて、5月10日まで市民から意見を募集。問い合わせは市歩くまち京都推進室(075・222・3483)へ。

【田辺佑介】

京都市は、京都駅南口の一般車向け駐車場を廃止し、利用客らがくつろげる広場を拡大する構想をまとめた。南口を「京都の玄関」として、よりふさわしく整備するのが狙い。市民から意見を募集するなどして、今夏までに具体的な整備計画を策定する。

市によると、京都駅南口は、新幹線の乗降客や観光バスなどの団体の利用が多いが、人が集まったり、くつろいだりできるスペースが少なかった。また、駅前の八条通により駅



廃止が検討されている京都駅南口駅前の一般用駐車場。左は八条通

地下鉄四条駅9月末ごろ

リニューアルオープン

喫茶店やスーパーなど8店舗



地下2階に設けられる店舗スペースのイメージ図

京都市は28日、改修工事
中の地下鉄四条駅(下京
区)に新設する商業ス
ペースの概要を発表した。経営
的観点から、地下鉄の増収
策の一環として、大規模改修中の四条駅(下京区)に出店予定の店舗を発表した。京

「これが必要」と話してい
る。商業スペースとして活用
するのは、地下1階の改札
口付近と、これまで機械室な
どに使用していた地下2階
の計約1200平方メートル。20
代の女性をメインター
ゲットに設定しており、9
月末ごろに公募で集まった
喫茶店やスーパー、マーケッ
ト、花屋など8店舗がオー
プンする予定。
市によると、駅構内の売
店による収益は、平成19年
度までは年間500万円程度
だったが、災害対応型自動
販売機の全駅設置を始めた
20年度は1億1千万円ま
で増収。22年度は商業ス
ペースの増収などで、2億6
千万円の増収を目指す。
一方、市は商業スペース
の整備を5月18日まで募集
している。官製はがきか京
都市交通局のホームページ

産経

京都市は28日、地下鉄増収策の一環として、大規模改修中の四条駅(下京区)に出店予定の店舗を発表した。京都市内では初出店となる関東のスーパーや、夜にはお酒も味わえるカフェなど8店で、9月末のオープンを目指す。

京都市 地下鉄収益アップ作戦



京都市地下鉄四条駅の改修後のイメージ図。カフェやスーパーなどの店舗が並ぶ予定

四条「駅ナカ」に8店舗

地下1F 花屋やパン屋

四条駅の1日あたりの乗客数は約9万人で、地下鉄の駅の中では京都市に次いで多い。駅構内の広いスペースを有効活用し、地下鉄の増収につなげようと、市は駅ナカの増収策として、国の交付金約5億円を使って改修工事を進めている。
商業スペースは、駅ナカと駅への接続通路など地下1階と、機械室などがある地下2階で、いずれも改札口の外側。店舗面積は延べ約580平方メートル。地下1階は首都圏を中心に展開している花屋、青果店、山手線沿線の「東京駅」や「山手線」の駅ナカを模範とし、地下2階は「志保」や地元のカフェ、パン屋、花屋などが入る。

9月末オープンへ

地下2F スーパーやカフェ

地下2階は、京都府内では初出店となるスーパー「成城石井」(横濱市)や「マルエー」(東京)などの「マルエー」(東京)の3店の予定。トイレや改札機も設ける。
市交通局は、テナント料(年間約1億円)に加え、各店舗の売り上げに応じて収益の一部を得る。各駅で取り組んでいる「駅ナカ」ビジネスと合わせ、本年度は約2億6千万円の収入を見込んでおり、市交通局は2013年度までに年間5億円の収入を目標としており、「地下鉄経営に大きく寄与する」と期待しているという。
また、市は丸の内線開業日の5月29日を地下鉄の日と定め、当日は地下鉄の駅などを巡るスタンプラリーや、市電と地下鉄の乗り換えなどを行う。(小野俊介)

の応募フォームで受け付け(通局企画課(075・863・5068))。問い合わせは京都市交

京都

地下鉄利用を呼びかける舞妓やキャラクターたち(1日午前10時32分、京都市下京区・京都駅地下街ボルタ)＝撮影・山本陽平



京都市が地下鉄増客強化月間 キャラ、舞妓さんPR

経営難に陥っている京都市営地下鉄の増客増収強化を図る「5万人増客キックオフ月間」が1日始まり、京都駅地下街ボルタ(京都市下京区)で記念式典が開かれた。舞妓に加え、市の「ゆるキャラ」も一堂に集まり、地下鉄利用を訴えた。

地下鉄は1日約4千万円の赤字が出る全国で最も経営状況の悪い公営地下鉄で、昨年度に経営再建が義務化される健全化団体になった。市は2018年度までに1日乗客5万人増を目指す健全化計画を策定し、5月を増客の強化月間としてPR策を展開する。

式典には地元住民や市幹部ら約200人が集まり、門川大作市長が「目標達成に向け、市民とともに市の総力をあけてまい進する」とスタート宣言をした。市環境政策局の工コちゃん、上京区のかみぎゆうくん、下京区のシモンちゃんなど沿線のマスコットキャラも駆けつけ、舞妓が「乗ってください」と人々にチラシを手渡した。

「キックオフ月間」では地下鉄沿線で市の関連イベントを集中的に開き、誘客につなげる。

(竹下大輔)

ゆるり乗つとくれ

朝時聞

1日乗客5万人増へ発車!

京都市営地下鉄 5月は強化月間

駅に高級スーパーム

大型連休とともに、京都市は多額の借金を抱える市営地下鉄の立て直しに本腰を入れ始めた。今月を、1日あたりの利用客を5万人増やす目標に向けた強化月間とし、1日、京都駅前地下街ポルタでイベントを開いた。新たに「地下鉄の日」も制定。駅の空き空間に店舗を誘致する「駅ナカビジネス」も拡大し、収益増を目指してひた走る。(岡見理沙)

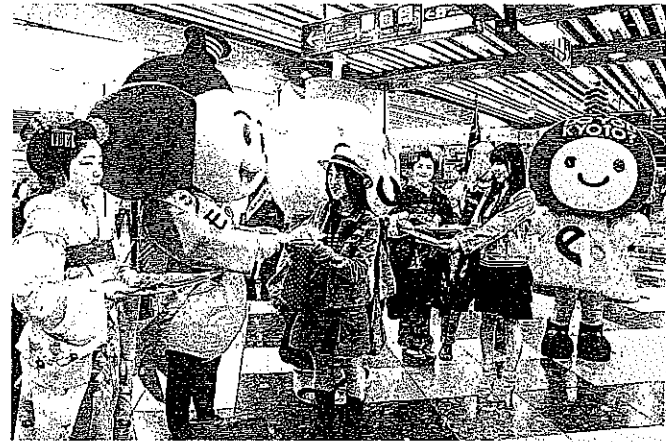
イベントには門川大作市長や市幹部が顔をそろえ、通行人にチラシを配って地下鉄の利用を訴えた。交通局幹部は「何としても5万人増加を達成する」と話した。

2008年度決算で地下鉄事業の資金不足比率は133・5%。自治体財政健全化法で定められた基準20%を大きく上回った。長期借入金約5千億円。同法に基づいて策定した経営健全化計画では、1日の利用

客を現在の約33万人から5万人増やすことや収入増加策が盛り込まれた。

市が、収入増の手段として期待するのが駅ナカビジネスの拡大だ。四条駅の地下1、2階の一部を約5億円をかけて商業スペースに改修。2040代をターゲットに高級スーパー「成城石井」など8店舗を誘致した。今年9月末に開業する。年間計1億円の賃料が市に入る見込みだ。

また、1981年に烏丸線(北大路―京都駅間)が開業した5月29日を「地下鉄の日」とし、午前9時45分から京都堀川音楽高校(中京区)の音楽ホールで、地下鉄の役割を考えるシンポジウムを開催。アンケートに答えた人に、地下鉄1日乗り放題乗車券をプレゼントする。烏丸御池駅では、菓子やかたて市中を走った市電のレールを販売。山科駅ではダンスや音楽の演奏がある。地下鉄限定のオリジナル菓子がもらえるスタンプラリーもある。問い合わせは市交通局企画課(075・863・5068)へ。



宮川町の舞妓や、下京区のシモンちゃん、上京区のかみぎゅうくん、市環境政策局のエコちゃんら、ゆるキャラが地下鉄の利用を訴えた。京都駅前地下街ポルタ

地下鉄5万人増客!

市長ら参加でキックオフ

経営難にあえぐ市営地下鉄の赤字を解消しようとして、京都市は1日、地下鉄の利用を市民らに呼びかける「地下鉄5万人増客キックオフイベント」を京都駅前地下ポルタ(京都市下京区)で行った。

市によると、地下鉄事業の累積欠損金は平成20年度決算で約3043億円。黒字化するためには、現在1日あたり32・33万人の乗客を、30年度までにあと5万人増やさなければならぬ。

市は目標を達成するため、5月を「地下鉄5万人増客キックオフ月間」に設定し、地下鉄沿線でコンサートやシンポジウムなどのイベントを開催する。この日は、門川大作市長が「総力を挙げて5万人という目標の達成に努めたい」と宣言。その後、舞妓やマスコットキャラクターの「エコちゃん」らが買い物客らに沿線情報などを掲載したチラシを配った。

地下鉄利用増へイベント

京都市営地下鉄の利用客増につなげようと、京都市交通局は5月を5万人増客キックオフ月間と設定し、1日、京都駅前地下街ポルタ(下京区)で開きイベントを実施。関係者や市民ら約1300人が出席した。

市営地下鉄は、累積で3000億円を超える赤字があり、財政健全化法に基づき経営健全化団体に陥っている。市交通局は2008年度までに1日あたり5万人の増客を図り、財政を改善させる計画を立てている。イベントでは、門川大作市長や交通局職員らが宮川町の舞妓らとともに買い物客にチラシを配って地下鉄の利用を呼びかけた。



地下鉄の利用を呼びかける門川大作市長ら
＝京都市下京区

読売

産経

第2のゆずやコブクロを目指してみませんか。京都市交通局は7月から、地下鉄増客策の一環で、市営地下鉄構内を楽器演奏するソロ歌手やユニットに開放する。1日数万人が通過する絶好のスポットだけに、「演奏者に喜んでもらえるし、曲を聴くため地下鉄に乗る人も増えてくれれば」と期待している。

地下鉄構内ライブ空間に

京都市交通局 ミュージシャン募集

駅魅力アップ、集客期待

市交通局は、地下鉄構内（同）の改札口、乗降スペース、近隣の1カ所、1日当たり約1万3千人が利用する。演奏時間は午前10時から午後9時まで。審査は5月21日まで、市交通局企画課075-863-5068へ。月間審査を行い、(小野俊介)

京都市は6月から、公用の電気自動車(EV)を市民向けに無料で貸し出す事業を拡大する。昨年10月から今年2月までの土日曜と祝日に2台

を貸し出したところ、市民からの申し込みが殺到したため、市が所有する5台すべてを貸し出すことにし、近く募集を始める。

市民向けに貸し出される公用の電気自動車を充電する職員
(京都市中京区・御池地下駐車場)



京都市、来月から

市民が保有する自動車約60万台の1割がEVに転換。先行購入した。このうちの2台を土日曜と祝日に限り、市民に1日無料で貸し出す。素削減効果があるとして、

EVモテモテ 貸し出し拡大

5台に増やし平日も

事業も始めた。これまでに実施した43日間、延べ86台分の貸出枠に対し、競争倍率20倍以上となる1969件の応募が寄せられた。このため、6月からは残りの3台も市民向け事業に投入し、平日に3台、土日曜と祝日には5台を貸し出す。貸し出し時間は、前回の1日貸しから午前と午後に分け、利用の機会を増やす。事業所向けに2週間、1カ月の貸し出しも実施していたが、6月からは事業所にも市民向けの平日枠に応募してもらう。貸し出し場所は、前回の御池地下駐車場(中京区)に加え、3カ月ごとに市内の北部、東南部、西部の駅周辺駐車場を巡回することにしている。

(小川卓宏)

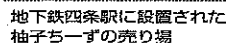
きょうの

市は、オリジナル菓子を含む「駅ナカビジネス」について、年間5億円という高い収入を目指す。さて、巨額赤字の前に単なる「焼け石に水」に終わるのか、それとも地下鉄の数世主となるのか――。

2010
•
5
•
13

救世主？焼け石に水？

香



「水尾の柚子ちーず」は、名産地として知られる石原区磯崎水尾のユズの3倍以上という予想をクリムテラスに練り込み、カステラで包んだ洋菓子。昨年11月に発売され、京都、山科、四條駅の北改札を出てすぐの売り場、一口食べると、ふんわりしたカステラの中からほのかにユズが香る。夕方には帰路につく観光客や、販売累計はこのグー

ルデソウィークで50万個を超えた。「当初買込みの3倍以上」という予想外の売れ行きを誇っている。

四條駅の北改札に広がる担当者の顔がほころんだ。

市は06年度、赤字解消と利用客増加につなげばと、全国で流行しつつあった駅ナカビジネスに

増や運賃値上げと並ぶ収入増加策の柱に据えている。

四條駅では現在、大幅改修し、ペーカリーやスーパーなど新たに8店舗のスペースを確保する工事が着々と進行中。合わせて愛称の募集も始めた。また、水尾の柚子ちーずに続く「オリジナル菓

本格参入。駅構内のスペースに、全国の有名な店の菓子屋を半月から一カ月で店に入れ替えて販売する店舗「駅ナカスイーツ」を設置したり、簡易型のパン店を出店させたりと地道な努力を積み重ねてきた。

そのかいあって、収益は07年度の5000万円から09年度は1億8000万円にまで大幅にアップした。更に、3月に策定した地下鉄事業経営健全化計画では、13年度までの駅ナカビジネスでの収入目標を年間5億円に設定。乗客の5万人

子が発売を検討しており、「二四目のドジョウ」を狙う。

とはいえ、地下鉄事業の累積赤字は3000億円以上。経営健全化団体に転落し、全国1都8市の公営地下鉄では最も厳しい財政状況にあるとみられている。当然のことながら、市も「駅ナカビジネスだけでなくかなるものではない」と認めている。

好調の駅ナカビジネスを、いかにして「本業」の利用増につなげていくか。これが今後の課題だ。

京の「よるバス」に学会賞

民学官の連携評価

京都まちづくり交通研究所や京都市交通局などが共同で運行している「よるバス」事業が、日本都市計画学会の学会賞(計画設計賞)を受賞することが決まった。民学官が連携し交通利便性の向上を実現させたことが受賞理由とされている。

都市計画学会

由で、14日に東京大で授賞式が行われる。よるバスは、市交通局、事業組合の京都まちづくり交通研究所、京都大工学研究科都市地域計画研究室の3者が共同で企画。2007年から河原町と京都駅、09年から祇園と京都駅を結ぶ夜間バスを

交通利便性を向上

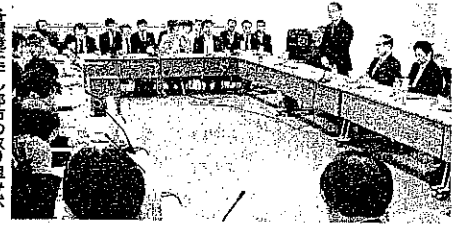
走らせ、延べ利用者数は4月末時点で約19万2千人に上っている。

日本都市計画学会は都市計画の発展などに貢献した事業を対象に計画設計賞を授与している。よるバスを(運行を)公的財源に頼っていない(大学が)技術顧問として事業に貢献しているなどと評価した。

京都まちづくり交通研究所の宇津克美代表(73)は「民学官の連携は、京都のまちづくりにとつて大きな布石になったと思う。賞を励みにして、今後も市民が住みやすいまちの実現に向けて努力したい」と話した。

(小野俊介)

各環境モデル都市の取り組み状況を評価した政府の会議(東京都千代田区)



環境モデル都市制度1年

京都市「A」エコ通勤評価

温室効果ガス削減を目指す「環境モデル都市」制度開始から1年を受けて、活動を評価する政府の会議が19日、東京都内で開かれた。京都市は「進ちよくが計画より進む」と4段階のうち2番目に高いA評価とされた。モデル都市13自治体で「国以上の取り組み」とする最高のS評価はなかった。

環境モデル都市は2009年度から国の財政支援を受け

政府判定 4段階の2番目

て、公共交通機関の整備や森林改正や市役所が率先する自転車、太陽光発電の普及など車やバスによるエコ通勤が高まる都市にさまざまな高い評価を受けた。

また13自治体のうち、A評価は京都市のほか北九州市、富山市、下川町(北海道)の4市町。「進ちよくが計画通り」のB評価は堺市や千代田区(東京)など7市区町。「進事業が「計画通り」」「計画前より遅れる」のC評価は倒しと判定された。さらに、横浜市と水俣市(熊本)の2計画以外で新たに始めた利便性向上のための地下鉄ダイヤ

京都市は、地元産・木材の「利用促進など57事業のうち54区(東京)など7市区町。「進事業が「計画通り」」「計画前より遅れる」のC評価は倒しと判定された。さらに、横浜市と水俣市(熊本)の2計画以外で新たに始めた利便性向上のための地下鉄ダイヤ

(石田真由美)

京の旬野菜歌でPR

なす 賀茂の 一番の ころの 葉の 若菜の 祭の 葵

〔葵祭の若菜のころ〕
に一番の賀茂な
す揃える。京の旬野
菜「時待ち食」の普及
を目指す京都市と京の
旬野菜協会は、京の歳
時と旬の野菜を歌詞に
したPRソング「時待
ち食の唄」をつくり、
20日から直売所でCD
で流し始めた。野菜の
旬の時期がわかる季節
感あふれる歌に仕上が
っており、販売促進に
つなげる意向だ。

市など 直売所で流す



録音したキャンペーンソング「時待ち食の唄」を流し、
京の旬野菜をPRする直売所のスタッフら
(京都市右京区・地下鉄太秦天神川駅)

「時待ち食」の直売 京区 北大路(北区)から営業している。近く
所は地下鉄の太秦天の各駅の改札出口付
神川(右京区)東野(山)近にあり、火 水曜日
科区)二条城前(中をのぞく午前11時か
旬野菜を提供してい など生産・輸送コスト

を抑えられ、栄養価も
高いとされる。年中販
売される野菜が多いこ
とから、旬野菜の知名
度アップを目指して歌
をつくった。作詞山口
健さん、作曲彩野旬さ
んで、Renikaさ
んが歌う。
季節順に7番まであ
り、これからの季節は
「祇園囃子の梅雨明け
時は 伏見甘長 鷹峯
京とうがらしの旬が
来る」と歌う。1番と
7番は「ああ想い焦が
れる時待ち食よ」と締
めている。
協会の渡邊信一(本部
長(61))は「京都らし
い、やさしい曲調で耳
に入りやすい。旬の時
期を知ってもらい、市
内で収穫している身
近な野菜に親しんで
ほしい」と期待してい
る。

(上野正俊)

利用客増「順調に」

1日当たりの市営地下鉄利用客5万人増加を目指す京都市は24日、3月のダイヤ改正後の利用状況を発表した。改正前と比べ利用客は1300人程度増えており、市は「ダイヤ改正の効果の検証には時間がかかるが、利用客増加に向けて順調

京都市営地下鉄 3月のダイヤ改正後

にスタートしたとし、め3月19日にダイヤを改正した。午後9時10分過ぎの平均は、ダイヤ改正前の3月15日、18日、19日は前年同期比で0.7%増えたのに対し、改正後の19日、21日では1.1%増加した。【田辺佑介】

ことで最終電車の乗り継ぎができる「シンデレラクロス」を導入したりしている。市によると、全駅で

「シンデレラクロス」も効果

京都市 地下鉄、バス乗客微減

09年度「健全化、影響なし」

京都市交通局は24日、市営地下鉄と市バスの2009年度の乗客数を発表した。新型インフルエンザの影響などで地下鉄が08年度比0.5%、市バスが同1.7%それぞれ減少したものの、経営健全化計画で見込んだ数値とほぼ同じで、市交通局は「計画達成には影響はないとしている。5千人減った。

月別にみると、市内で新型インフルエンザが初めて確認された5月が最も減少率が高かった。地下鉄は3.6%（1万3千人）、市バスは6.0%（1万9千人）減った。インフルエンザが流行した春と冬を中心に伸び悩んだ。一方で、3月は08年度と比べて地下鉄は0.8%（2千人）増、市バスは1.3%（5千人）増とやや持ち直した。増客を実現したいと、市交通局は3月中旬にダイヤ改正を行ったこと、増客につながったとしている。（小野俊介）

京都

京都市営地下鉄

1日平均32万7000人

09年度

京都市交通局は24日、市営地下鉄の2009年度の旅客数（速報値）が、1日あたり32万7000人だったと発表した。景気低迷や新型インフルエンザの流行などが影響し、08年度（同32万8000人）よりやや減った。

読売

学校副読本に環境負荷 バス路線図を全戸配布

京都市「スローライフ」計画

京都市の「歩くまち
・京都」推進本部会議
が26日、中京区の市役
所で開かれ、公共交通
での移動を中心とした
生活習慣の転換を促す
「スローライフ京都」
の市計画が示された。
小・中学校の副読本に自動
車利用の環境負荷を盛
り込むほか、市バス・
私鉄バスの路線図を全
戸配布する。
推進会議は「歩くま
ち」の政策を進める市
の広報紙「市民

の幹部会議で、4月に
設置した。政策実現に
は市民の行動転換が不
可欠なことから「スロ
ーライフ京都」を本年
度から本格的に実施す
る。
計画では継続を含む
23事業を示し、新規事
業では、小学5年生向
けの環境副読本で、自
動車の温室効果ガス排
放量を記し、エコドラ
イフの重要性を訴え
る。市の広報紙「市民

しんぶん」に市内の市
バス、私鉄バスの路線
を網羅した地図を掲載
し、64万世帯に全戸配
布することも決めた。
また運転免許証や地
下鉄・市バスの敬老乗
車証の更新時にマイカ
ー利用の自粛を訴える
冊子を配布したり、公
共交通利用促進に取り
組む地域や大学に対す
る支援制度も創設する
方針。

(竹下大輔)

読売

ずっしり重い
旧市電レール

「地下鉄の日」で販売
京都市は29日、市営地下鉄烏丸線(北大路―京都間)が1981年の開通した日に合わせた記念イベントを烏丸御池駅(中京区)などで開いた。2018年度までに増客5万人の達成を目指す同市は今年、この日を「地下鉄の日」に制定しており、利用促進活動の一環で実施した。



旧市電のレールを珍しそうに見入る子どもら(中京区の烏丸御池駅で)

同駅では、ロールケーキなどの「駅ナカスイーツ」や、車内に忘れられた傘、ネクタイ、王生車庫跡地(同区)で発見された旧市電のレールなどの販売があり、人気を呼んだ。
厚さ5センチのレールを購入した中京区の小学4年、長科区)では大学生らがアイ

谷川琢真君(9)は「電車が好きで、関連グッズを集めているのでうれしい。想像していたよりずっしり重たい」と喜んでた。
京都堀川音楽高(同区)では、地下鉄建設時の記録映像が上映され、山科駅(山科区)では大学生らがアイ

産経

もつと地下鉄利用して

京都市 スタンプラリーやグッズ販売でPR

地下鉄の利用者を増やそうと、京都市は29日、市営地下鉄二条城前駅など3駅で、スタンプラリーなどのPRイベントを行った。



地下鉄の日のイベントで、人気を集めた傘の販売
〓京都市中京区の烏丸御池駅

市は、昭和56年5月29日に地下鉄烏丸線(北大路―京都駅間)が運行開始したことちなんで、この日を「地下鉄の日」と決めている。市民に地下鉄を見直してもらい、利用を増やす狙いだ。

スタンプラリーは二条城前―山科駅間で実施。家族連れなど約890人が参加し、地下鉄の旅を楽しんだ。途中の烏丸御池駅では、話題の市電レールの輪切りや忘れ物の傘などを販売。訪れた人たちは入念に品定めをしてお気に入りを選んでいった。

地下鉄の昨年度の利用者は約32万7千人で、前年度より微増。市は平成30年度までに利用客5万人増を目標にかかげ、PR活動を実施している。

レールを買った兵庫県尼崎市の高岡得治さん(62)は、電車の元整備工。高岡さんは「レールを見ると、昔の仕事を思いだします」と満悦。市交通局企画総務部の西山真司企画課長補佐は「外出に地下鉄を利用してもらうきっかけになれば」と話していた。

京都市初企画「地下鉄の日」

増客イベント幸先良好



京都市営地下鉄の経営健全化
1日3900万円の赤字が発生し、
昨年度に国から経営再建を義務付け
られる健全化団体に公営地下鉄で唯
一指定された。市は3月、2018年度
までに1日乗客5万人増などを掲げ
た健全化計画を策定した。

京都市営地下鉄の開業を記念した「地下鉄の日」の29日、沿線で市電レールなどのグッズ販売や3駅を巡るスタンプラリーなどさまざまなイベントが催された。経営危機に陥った地下鉄の利用客増を図る初企画で、多くの鉄道ファンや親子連れでにぎわった。(竹下大輔 小野俊介)

建設時の映像上映

◇午前9時45分、市立京都堀川音楽高等学校ホール(中京区)で開会イベントが開かれた。約500人が参加した。記念講演で杉本家保存会事務局長の杉本節さんが「地下鉄で京都の文化財を巡るイベントを企画してはどうか」と提案。

烏丸線建設時の記録映像上映会や京都堀川音楽高等学校生による演奏会、地下鉄の今後を考えるシンポジウムもあり、参加者に地下鉄1日乗車券がプレゼントされた。

地下鉄山科駅近くのステージでのフルート演奏
(京都市山科区)



スタンプラリー 900人がゴールに

◇午後2時、二条城駅前をスタートしたスタンプラリーの参加者約900人が、ゴール地点の山科駅(山科区)改札口前に列をつくった。市営地下鉄のオリジナルスィーツ「水尾の柚子ちいず」が無料で贈られ、ステージでは能やフルートの演奏も披露された。

スタンプラリーに参加した中京区の主婦小西啓子さん(65)は「にぎわっている雰囲気が楽しかった。地下鉄の駅が活性化してほしい」と話していた。

市電レール販売に行列

◇烏丸御池駅(同)とあつて午前6時から並では午後1時から、鉄並ぶマニアもおり、あんだ大津市の男性会社道グッズの即売会があまりの混雑に整理券を員(44)は「絶対に欲った。目玉は1978配布したが、午前11時しかだったので、早めに年に廃止された市電のには20人以上がキャンセル待ちとなった。

市電レールに熱い視線を送る鉄道ファンたち(京都市中京区・地下鉄烏丸御池駅)

さびて茶色になったレールは幅3.5センチに切り分けられ、ファン60人以上が並ぶ盛況ぶりが見定めながら購入りだった。

地下鉄の乗客数などを広報する電光掲示板
(京都市中京区・市役所前)



市地下鉄乗客2000人増

1日当たり
4月まとめ

電光掲示板で公表

京都市交通局

京都市交通局は市営地下鉄と市バスの経営健全化計画策定後の1日当たりの乗客数(4月分)をまとめ、市役所前(中京区)などの電光掲示板で公表を始めた。地下鉄は36万3千人で、前年同月に比べ2千人増えた。市交

通局は「順調な滑り出し」としている。

計画では、2018年度までに1日当たりの乗客数を5万人増やす目標を定めており、本年度は前年度比1千人の増客を目指している。

市バスの4月の乗客数も35万4千人で、前年同月と比べ1万4千人増えた。

毎月の乗客数を市役所前、京都駅北口駅前広場(下京区)、ゼス

ト御池河原町広場(中京区)の3カ所の電光掲示板に表示し、市民ページでも掲載する。(小野俊介)

京の都心 自転車専用道

国交省 五条通に11年設置



2011年2月末までに自転車道が整備される五条通の歩道（京都市下京区）

国土交通省京都国道事務所 道側に、2.5mの自転車道を整備する。店舗の出入り口となる場所や交差点付近を除き、専用道の整備に乗り出す。下京区の五条通（堀川通―五条大橋）約1.7km区間の歩道に専用道を設け、2011年2月末の完成を目指す。市も今秋に中京区の御池通歩道で自転車道を設ける社会実験を予定し、自転車道整備の機運を高めていく。

整備されるのは五条通（堀川通―五条大橋）の南北両側の歩道。約5m幅の歩道の自転車歩行者道は27m整備される。市内では道幅が狭く自転車道の整備は進んでいない。歩道内の車道側に自転車向けにカラー舗装などを施した「自転車歩行者道」は27m整備される。

京都市も御池通で社会実験へ

京都市の社会実験は、御池通（鳥丸通―河原町通）約1.5kmの南側歩道（平均幅約6m）の車道側約2.5mを自転車道にして実施する。（小川卓宏）

国は2007年度、歩行者と分離した自転車走行環境整備のモデル地区を全国で指定し、市内では五条通と鳥丸通（丸太町通―御池通）を選んだ。五条通を担当する同事務所が府警と調整し、今秋着工のめどがついた。



減らせ「クルマの流入」

駐車場抑制へ

京都市

「脱クルマ社会」を目指そうと、京都市は8日、駐車場の整備を抑制する基本計画をまとめた。環境に優しい低炭素化社会を目指し、駐車場の整備を抑制して車の流入を減らし、公共交通機関の利用を促す。これまでは駐車場不足が交通渋滞を招いているとして、商業施設などに対し一定規模以上の駐車場を設けるよう求めていた。東山区などで進んでいた駐車場建設計画も、白紙に戻す。

京都市は昨年1月に国の環境モデル都市に選ばれ、地球温暖化に影響を及ぼす自動車利用の抑制策を検討してきた。その一環として「駐車場

設基本計画」を策定した。駐車場を必要以上に増やすことなく、車の利用を抑え、電車やバスなどの利用促進を目指す。計画では、JR京都駅周辺や御池通―五条通、川端通―堀川通の市中心部で、新たな駐車施設の整備を抑制し、供給過多となっている既存の駐車場の有効活用を図る。また、路上駐車が目立つバイクの駐車スペースやトラックなどの荷さばき場所を確保したり、建築物の用途に見合った適切な駐車台数を定めたりすることなども明記した。

合わせて発表した今後10年間の整備計画では、人口減少などで「将来的に駐車需要が

大幅に増加する見込みはない」と判断。市内で計画中の京都東山五条地下駐車場(東山区)と京都駅南口駐車場(南区)は「必要性を再検討する」とし、白紙に戻す方針を打ち出した。

京都市は現在、市中心部の延べ床面積1500平方メートル以上の百貨店やホテル、病院などに

対し、床面積200平方メートルにつき1台分の駐車場を設けるよう条例で義務づけている。市は近く市条例の見直しを進める。

京日記



◆阪急桂く、時刻表と路線図
駅(京都市がばらばらだったた
西京区)のめ、初めて京大を訪れ
西口バス停る人に不評だったこと
に9日、京都市大桂から、京大が依頼。費用
ンバス方面行きバスをも負担し実現した。英
語表記も添
えられた。



◆記念セ
レモニーが
あり、関係
者が案内
板に巻いた
リボンを解
運行する京都市交通局いた。利用者に、案内
と京阪京都交通の案内 表示板と同じ時刻表と
表示板が新設され、二 路線図を記載したチラ
つあった標識柱も一本 シを配り、わかりやす
化された。写真。 くなったバス停をPR
◆乗り場が分かりに した。(上野正俊)

「脱クルマ」へ駐車場減

京都市整備抑制へ方針転換

脱クルマ社会への取り組みを進める京都市は、市内中心部で駐車場整備を推進する駐車場基本計画などを見直し、新たな施設整備は抑制する計画をまとめた。渋滞緩和の観点から整備を進めてきたこれまでの方針を転換、駐車場を減らすことで自動車の流入や車の利用自体の抑制を図る。市は96、97年度に策定した基本計画や整備計画に基づき、市内中心部や京都駅周辺を整備地区に設定。一定規模以上の建物に駐車場を設置する義務を課したり、市営駐車場の整備を進めたりしてきた。しかし、08年の調査で地区内にある2万5800台分のうち、平日ピーク時（正午～午後3時）は平均1万4000台分、休日ピ

画の見直しを決定。延べ床面積1500平方メートル以上の百貨店や映画館などに200平方メートルにつき1台分の駐車場を設置する義務の緩和や、既存駐車場をバイク用駐車場へ転用することなどを進める。また、京都駅南口や五条大橋東側で予定していた駐車場建設計画も白紙に戻すとしており、今後必要な条例改正を進める。

【田辺佑介】

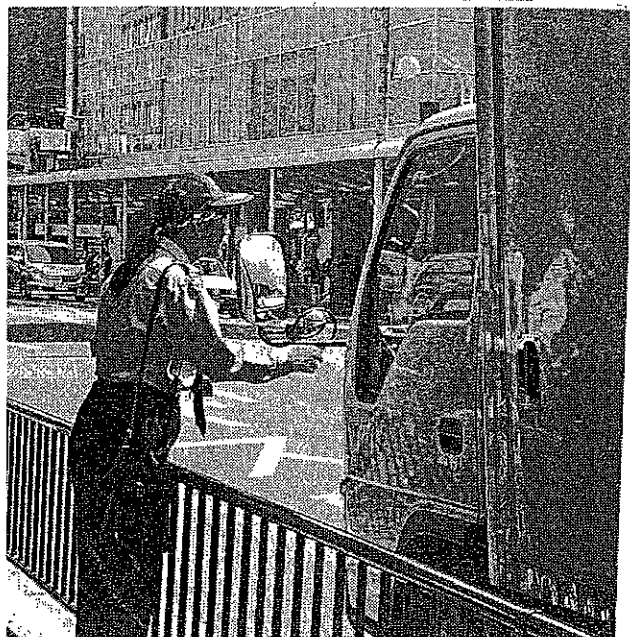
繁華街の違反駐車なくそう

京都市と府警、合同指導

都心部でバスやタクシーがスムーズに走れる空間を作ろうと、京都市と府警は、合同違法駐停車指導を実施。約70人が参加し、三条、四条の河原町通などを巡回した。写真。

市によると、平成21年度の市内の違法駐停車指導件数は約8万5千件にのぼる。特に四条河原町などの繁華街は、観光客のタクシー利用や業者の荷さばきなどによる混雑が問題となっているという。

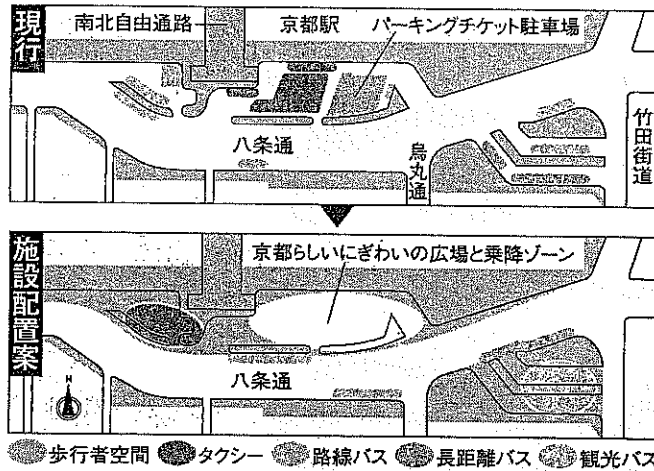
この日は、違法駐停車の車両に対する指導が299件（タクシー124件、トラック100件、一般車両75件）、自転車の歩道走行に対する指導が147件行われた。市の職員や警察官らは、運転手らにできるだけ早く移動するよう呼びかけていた。



京都駅南口駅前広場

公共交通乗り換え便利

バス停集約など
京都市が配置案



「歩くまち・京都」の玄関口として京都駅南口駅前広場(京都市下京、南区)の再整備を計画している京都市は21日、タクシーや観光バスの待機場や分散しているバス停を再編し、歩行者空間を広げる施設配置案をまとめた。「公共交通へ乗り換えやすい空間づくりに主眼を置いた」として、今夏までに計画を策定し、2013年度着工、14年度の完成を目指す。

市は当初、南口駅前広場の再整備について、デッキ建設による屋上空間整備構想を描いたが、整備費が掛かりすぎるなどを理由に、4月、地上での再整備に方針を転換した。

配置案によると、南口中央付近にあるタクシープールとパーキングチケット駐車場を廃止し、歩行者がくつろぐエリアとマイカー送迎スペースにする。現在40台分ある駐

歩行者空間を拡張

車場の稼働率は8・9割と高いが、周辺に計620台分の公営・民間駐車場があり、廃止の影響はないという。

タクシープールは、観光バスが利用している南口西側に移転し、観光バスエリアは商業施設のアバンティ前に移す。分散配置されている路線バスのバス停も南口中央付近に集約する。

市民から要望のあった烏丸通付近への横断歩道も、設置に向け府警と協議も始めた。

現在6車線ある八条通の車線も減らしタクシーなどの待機場や歩行者空間に整備する方向だが、詳細は今後詰めていく。

南口周辺では市内最大級の商業施設が開業するなど歩行者も増えており、市歩くまち推進室は「歩行者と公共交通を優先する京都らしい駅前に再整備したい」としている。配置案への市民意見も7月1日から1カ月間募集する。問い合わせは同室 ☎ 075(222)3483。

(小川卓宏)

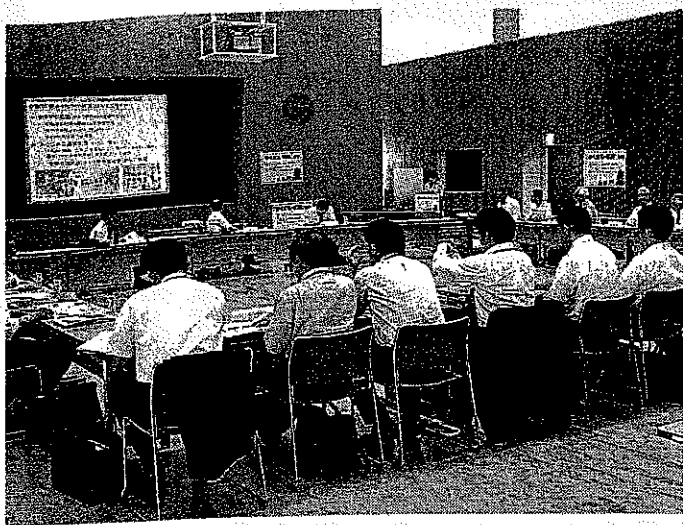
東大路通の渋滞解決を

車両抑制 歩道拡幅 対策を論議

東山区、住民ら初会合

京都市東山区の東大くまち・京都「総合交る東大路通は、紅葉の路通(三条・東福寺間) 通戦略のシンボルプロ 時期をピークに観光バの慢性的な交通渋滞の ジェクトの一つに位置 スやマイカーの大渋滞 解決を目指す「歩いて づけられている。「つ が発生する。歩道も狭 楽しい東大路をつくる くる会」は、プロジェ クト実現に向けた市民 ふれて危険なこともあ 会」の初会合が2日、 クト実現に向けた市民 東山区役所で開かれ と行政の協議機関(座 り、地元住民が道路の た。地元の自治連合会 長・岡田知弘京都大 改善を長年要望してい 長や有識者が出席し、 学院教授、委員30人) た。

会合では、歩道を拡 幅するには現在4車線 の車道を狭めざるを得 ないとの現状認識か ら、改善策を議論した。 東大路通の車両抑制 すと歩道拡幅は、市の「歩 有名観光地が点在す



東大路通の道路環境改善について話し合った会合
(東山区役所)

出席者からは「車両 の通行を一切禁じては どうか」「道路環境改 善は住民が長年望んで きたこと。絶対にやり とげてほしい」などの 意見が出された。次回 は9月に開催する。

(堀田真由美)

エコカー義務付け

京都市、大規模事業者に

京都市は14日、大規模事業者などに電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド車（PHV）などのエコカーの導入を義務付ける方針を発表した。9月の市議会に提出する地球温暖化対策条例の改正案に盛り込む。事業者に対する義務付けは全国でもめずらしく、二酸化炭素（CO₂）排出量の削減に積極的に取り組む姿勢を打ち出す。

市内での年間エネルギー使用量が原油換算で1500キロリットル以上の事業者など「特定事業者」を対象に、新車を購入する際に一定の割合以上をエコカーにするよう定める。京都市によると、今年3月時点で対象となる市内の特定事業者は製造業、運輸業、小売業、サービス業などの計148社。購入台数の何割をエコカーにするよう義務付けるかは未定で、事業者や市民からの意見を踏まえて調整する。EVとPHVだけをエコカーと認めるか、ガソリン車も含め

て低燃費の車種であれば後詰める。
エコカーとみなすかも今 後のほか条例改正案に 030年度までに温暖化 中期目標も盛り込む。

↑ 日経

京都

エコカー、地元材使用を

温室ガス40%減へ

京都市は14日、市地球温暖化対策条例の改正（骨子）案を発表した。2030年度までに温室効果ガスの排出量を40%削減（1990年度比）することを目標に掲げ、新たに排出量が多い企業にエコカーの購入を義務付けたり、大型商業施設などの新築に一定量以上の地元産木材を使うよう求めている。

現行条例は10年までに温室効果ガス10%削減を掲げているが、08年の速報値では11・7%

京都市が条例改正案

削減と目標を上回ったため、条例改正で新たな目標値や具体策を打ち出すことにした。骨子では、30年度までに40%削減を、中間年の20年度までに25%削減を目標としている。

新たに義務化したのは▽排出量の多い小売業など「特定事業者」が自動車を購入する場合、一定割合以上を電気自動車などのエコカーにする▽特定事業者は自転車通勤など「エコ通勤」に関する計画書を提出する▽特定建築物（床面積2千平方メートル以上）を新築する建築主は、一定量以上の地元産木材や、太陽光発電など再生可能エネルギーを利用するなど。

自動車販売店に対し、新車購入者への環境性能情報の説明義務を課した。市民の努力義務として、カーシェアリングの利用やエコカーの購入、公共交通機関・自転車の利用などを盛り込んだ。

市は条例改正案を9月定例会市議会に提出、来年度から施行する。骨子は市のホームページで閲覧でき、8月12日まで市民意見を募集している。問い合わせは075（222）4555。

（小野俊介）

現金収支、初の黒字

市営地下鉄平成21年度決算 経常損益は赤字

京都市は15日、平成21年度市営地下鉄事業決算の概要について、地下鉄事業の現金収支が開業以来初めて黒字化、市バス事業の経常損益が7年連続の黒字を達成したと発表した。地下鉄開業30周年を来年に控え、現金収支の黒字化を達成し、経常損益は前年度比約27億円改善したものの、約117億円の赤字となった。

市によると、地下鉄の同年度の1日当たりの旅客数は約32万7千人。新型イン

度から約12億円増で約18億円の黒字となった。

門川大作市長は同日行われた記者会見で、「経営健全化に向けた着実な前進。市民の皆さんの足として今後も利用を呼びかけたい」と話した。

地下鉄現金収支 16億円の黒字

京都市決算概要

京都市は、2009年度の市営地下鉄の「現金収支」が16億円の黒字だったとの決算概要を15日発表した。

現金収支は、減価償却費を除いて経営状況を判断する指標。現金収支の黒字は1981年の烏丸線開業直後を除けば初めてという。減価償却費を含めた経常収支では依然117億円の赤字だった。

市交通局によると、予算編成時には現金収支は5億円の赤字を想定していた。しかし、人件費の削減や借金を低金利のものに借り換えなどしたことで支出が減り、黒字化が図られたという。

地下鉄、22年ぶり黒字

京都市、現金収支ベース

京都市は15日、バス、地下鉄、上下水道、病院の各公営企業の2009年度決算概要を発表した。バス事業は7年連続で黒字、地下鉄は減価償却費を除いた現金収支ベースで22年ぶりの黒字となった。

バス事業は、景気低迷や新型インフルエンザ流行などで1日平均の旅客数が前年度より約5千人減り約31万人。運賃収入は3億8700万円減の17億5210万円となった。しかし、退職手当の減少や燃料価格の低下、職員の削減などで支出が減り、経常収支は18億3900万円と7年連続で黒字を確保した。

地下鉄事業も1日平均の旅客数が約千人減り、運賃収入は前年度比2億1500万円減の21億6100万円となった。ただ、第三セクター区間(三条京阪駅-御陵駅)の直営化に伴い年55億円の線路使用料の負担がなくなったため、経常収支の赤字幅は前年度比で27億500万円減り、117億1100万円に改善。駅施設や車両などの減価償却費を除いた現金収支ベースでは15億8100万円の黒字で、87年以來の黒字となった。

水道事業は、3年連続の黒字(10億8200万円)に。下水道事業は建設企業債の償還がピークを迎え、9年ぶりに赤字(マイナス13億900万円)となった。病院事業(市立病院、市立京北病院)は経費削減などで300万円の黒字を確保した。

行政ファイル

■京都市が小学生に
出前授業 脱クルマ社
会に向けた取り組みを
進めている京都市は15
日、市立二条城北小で、
市が掲げる政策「歩く
まち・京都」について
の出前授業をした。水
田雅博交通政策監が電
子黒板を使い6年生28
人に徒歩や公共交通の
利用を促す施策を紹
介。「歩くことは、健
康にも環境にもいい。
公共交通をうまく使っ
た生活を考えるきっか
けにして」と話した。
児童からは「市バスも
電気自動車になります
か」「地下鉄とかに『日

O YOU KYOT
Oのシールをはっ
たらいい」などの質問
や提案があった。

京都市+日産+三菱自+堀場製

EVの普及促進で協定を結んだ門川市長
(右から2人目)と自動車メーカーなど参
画企業の代表者、京都市役所



EV普及へ連携協定

京都市と日産自動車、三菱自動車、堀場製作所は16日、電気自動車(EV)の利用促進や京都の交通事情に合わせた運行システム構築に向けた「次世代EV京都プロジェクト」について協定を結んだ。市内にあるEV用充電器の位置情報や利用状況をITで個人に発信する実証実験を来年から始める。

充電設備誘導で 来年に実証実験

京都市が進めている「カーシェアリング」や「パーク&ライド」などの車利用システムと自動車メーカーなどの先進技術を組み合わせる。EVの普及拡大に必要な充電インフラの拡充を図り、市民や観光客らが使いやすい環境整備につなげる。実験には、三菱自と

日産のEV計12台が参加。京都市が現在市内33カ所に設置している充電器のうち10カ所程度をネットワーク化し、カーナビゲーションシステムや携帯電話に充電器の位置情報や使用状況を発信して車を誘導するシステムを開発する。EVの試乗会や利用者による意見交換会を開くほか、ガソリン車の「エコ運転」を促す運転技術の診断会、燃費コンテストなども計画している。

門川大作市長と3社の代表が同日、市役所で協定書に調印した。門川市長は「先進技術を持つ企業とともに、低炭素社会実現のモデルをつくりたい」と述べた。(甲賀史郎)

京都市地下鉄の上半期計画

5万人増へ196施策

京都市交通局は、2018年度までに市営地下鉄の1日当たり乗客を5万人増やすため、経営健全化計画に基づく上半期実行計画を策定した。市のイベント開催場所を地下鉄沿線に設営するなど、増客へ向け各部署の取り組みを盛り込んだ。

市営地下鉄が昨年度、国の経営健全化団体に指定されたことを受け、市は増客目標などを盛り込んだ健全化計画を策定。各部署でつくる増客推進本部を立ち上げ、取り組み内容を検討してきた。

実行計画は18年度までを上半期の目標期間とし、局や区役所など26機関で計196件の取り組みを実施することを決めた。

具体的には、職員表彰の記念品や市民公聴委員への謝礼などを地下鉄の1日乗車券などに変更したり、市のイベントの開催場所を極力、地下鉄沿線に設定していくほか、駐輪場を増設する場合、地下鉄駅周辺に集中させるなどして集客アップにつなげる。

経営健全化計画は実質的に本年度からスタートしているが、地下鉄駅構内を商業施設に貸し出すなど「駅ナカビジネス」を展開し、4、5月の平均乗客数が前年同期比9千人増の35万4千人と順調な滑り出しを見せている。

市交通局は「着実に実行計画を実施することで、5万人増を達成したい」としている。(小野俊介)

催しは沿線で／増設駐輪場は駅周辺

地下鉄構内 音楽で熱く

京都市営地下鉄の駅の空きスペースをソロ歌手やユニットに開放する「サブウェイ・パフォーマー事業」が21日に始まった。中京区の京都市役所前駅では早速、36組が軽快な演奏や美しい歌声を構内に響かせた。来年3月末まで毎日、市役所前駅のほか、同区の烏丸御池駅で演奏する。

京都市、にぎわい創出企画開始

この事業は、赤字経営に 環で、駅のにぎわいを創出 苦しむ地下鉄の増客策の一しようと、市交通局が初め



地下鉄駅の構内でギターを演奏する音楽愛好家たち

(京都市中京区・市営地下鉄京都市役所前駅)

市役所前 烏丸御池 愛好家ら腕披露

て企画した。市内を活動拠点にしている音楽愛好家59組から応募があり、選考の結果、53組が選ばれた。

正午に行われた開会式では、京都市出身の歌手のつじあやのさんが「ライブハウスとは違って、通りすがりの人にも聞いてもらえるのが面白い。思い切り楽しんでください」とあいさつし、ウクレレの弾き語りを披露して開演した。

このあと、音楽愛好家36組がアコーディオンやギター、横笛など思い思いの楽器を奏でた。熱が入り過ぎて指定の演奏場所を飛び出す演奏者も出るほど盛り上がり、兄弟バンド「三匹の子豚」でギターを弾いた藤野剛さん(17)「東山区」は「路上と違い、雨の心配をしなくていいのがうれしい。音がよく響いて気持ちよかった」と満足そうだった。

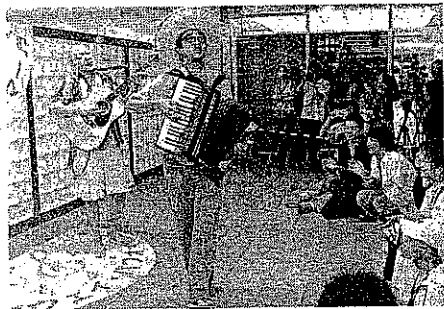
3月末まで毎日(午前10時～午後10時)、53組が京都市役所前駅と烏丸御池駅に分かれて演奏を披露する。(小野俊介)

地下鉄に流れるサウンド 37組、スタート祝いライブ



京都市営地下鉄の駅構内でミュージシャンが演奏する「サブウェイ・パフォーマー事業」が21日、始まった。乗客の増加につなげようと企画された。

身の新ガー・ソングライター・つじあやのさんがミニライブをした。写真。ほかに36組が演奏。和楽器の篠笛を演奏した鈴原美鶴さん(45)は「不特定多数の人が通る場所で演奏するのは初めて。日本らしさを演出したい」と話した。



た。
ギターやバイオリン、琴、尺八など、53組が同駅と烏丸御池駅の改札付近で午前10時〜午後10時に演奏する。スケジュールは市交通局のホームページ(http://www.bri.co.jp/subway_p/)に

朝日

地下鉄ライブ「開演」

全53組、順次

京都市営地下鉄のにぎわい作りに向け、同市交通局が企画した「サブウェイ・パフォーマー事業」が21日、始まった。写真。オーディションで選ばれた53組の音楽家らが東西線・京都市役所前、烏丸御池両駅構内



雑記帳

◇京都市営地下鉄は21日、小さな「舞台」に親子や友人歌や楽器演奏などパフォーマーの披露を希望する市民に、駅構内のスペースを無償提供する「サブウェイ・パフォーマー」事業を始めた。

◇駅の魅力アップで、乗客増につなげようとする試み。初日は京都市役所前駅(中京区)の改札付近に設けられた。

◇36度を超える地上の猛暑をよそに、空調が利いた構内は快適そのもの。参加者や乗客らにも好評で、市は「パフォーマー」も同様、地下鉄にも大いにノッて」と期待している。【田辺佑介、写真も】

毎日

読売

を舞台にライブを繰り広げる。パフォーマーは、ギター、フルート、バイオリンから民族楽器の演奏者まで多彩な顔ぶれ。パフォーマーは都合の良い時間を見つけて、30分〜2時間程度のライブを披露する。

この日は、市役所前駅でオーブニングイベントがあり、門川大作市長が「地下から新たな芸術・文化を創造して」とあいさつ。35組のパフォーマー

が次々と演奏し、通行人らが足を止めて見入っていた。美しい歌声を披露したパフォーマー、岸岡ちなみさん(19)(大阪府富田林市)は「地下鉄駅でのライブは初めてだったが、声もよく通るし、お客さんとの距離が近くて楽しかった」と話していた。

事業は年度末まで。

JR京都駅前の客待ちタクシー

タクシー乗り場に入ろうとして交差点付近で停車するタクシー。交通渋滞の原因となっている(京都市下京区・JR京都駅前)

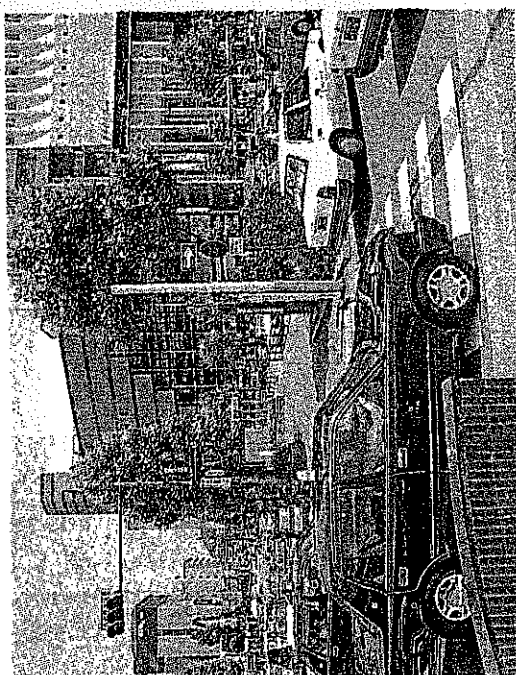
交通渋滞解消へ本格対策

マナー向上会議発足

JR京都駅(京都市下京区)前などに客待ちタクシーがあふれ、交通渋滞を引き起こしている問題を解決するため、京都市や京都府警などは本格的な対策に乗り出す。8月上旬にもタクシー業界を含めた対策会議を立ち上げ、約2万人いる市内のタクシー運転手全員にアンケートなどを通して改善を求めていく。

来月にも京都市、府警など

京都駅では烏丸口のでも駐停車禁止のバス乗り場に入り切れない。停付近で客待ちタクシーが烏丸堀小路1が自立し、交通渋滞交差点にあふれるタクシーの原因となっている。あるほか、四条通近年、規制緩和による



運転手2万人アンケートも

競争の激化や不況による利用客数の減少が拍車を掛けている。

市や府警は啓発や取り締まりを強化しているが、抜本的な解決に至っていない。そこで、タクシー運転手に自発的なマナー向上を促すため、具体策を検討する「市タクシー駐停車マナー向上マネジメント会議」を発足することにした。

会議は、市や府警、京都運輸支局のほか、各タクシー協会などのメンバー18人で構成。タクシー運転手の意識を変える「モビリティ・マネジメント」の手法に基づき9月以降にアンケートなどを行い、対策を講じる。違法駐停車台数の変化など効果も検証する。

市歩くまち京都推進室は「違法と知りながら客待ちする理由を運転手自身に考えてもらい、より良い解決策を導き出したい」としている。(小野俊介)

EV普及へ貸し出し強化

環境負荷が少なく、二酸化炭素(CO₂)の排出削減につながる期待される電気自動車(EV)の開発に、メーカー各社がしのぎを削っている。ただ、本格的な普及には、価格面や電池の性能向上だけでなく、充電器の整備や市民への周知が鍵となる。EVの無料貸し出し事業を始めた京都市は、充電器の設置場所も増やすなど、EVの普及促進に躍起だ。

(上野正俊)

「思った以上に快適 エアリング」事業を始です。静かで、パワーも。7月 三菱自動車「i-Miの平日の午後、伏見区 EV(アイ・ミープ)の市醍醐駐車場でEVを無料で貸し出す。に充電していたホテル 本年度は休日に加勤務の川口隆弘さん え、平日も利用できる(32) 山科区は話 ようにした。利用手順す。仕事が休みのこの はこうだ。まず、イン日、妻と乳児の3人で ターネットか電話で予約する。携帯電話などを「キー」にするため、前回は大阪市まで買い 事前に説明会に参加す物に行き、約30分のド に乗り、元の駐車場にに有料になっても借り 戻し、充電のためプラグを差して帰る。午前「みんなでEVカーシ 本だが、空き次第では

京都市、充電器3基増設へ



カーシェアリング中のEVを充電する川口さん
(16日、京都市伏見区・市醍醐駐車場)

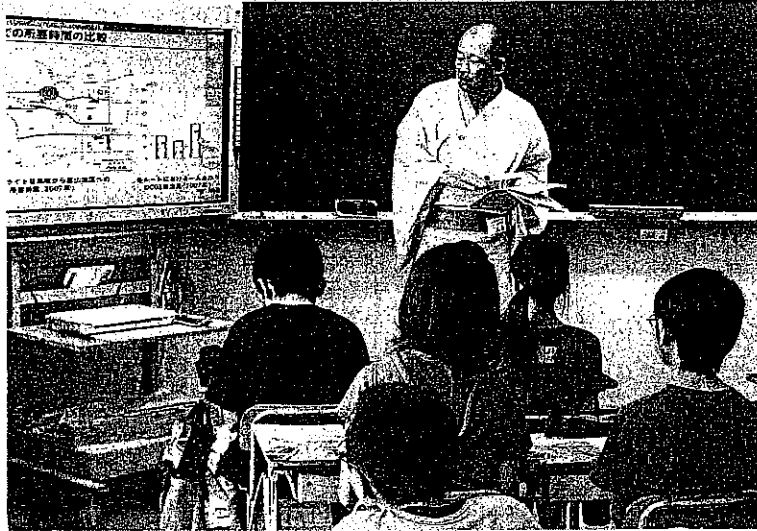
1日利用もできる。無料でも借りられるの醍醐駐車場の1台以 が最大のメリットだ外に、民間のタイムズ が、まだまだ利用者は時間貸駐車場(伏見区 少ない。15日から21日竹田醍醐田町)に2台、 までの1週間の利用土日祝日だけ利用でき は、御池は計7回、醍る市御池駐車場(中京 醍は平日2回、土日祝区)にも2台ある。 3回、竹田は平日はな

「電池切れ」不安 市全域への設置、鍵

し、土日祝に10回。特に平日は「利用なし」が目立つ。市環境管理課は「試しにEVに乗れば、良さを知ってもらえる。購入の動機になり、京都市内でのEVの普及につながる」(宇高史昭課長)と期待する。市によると、市内のEVの保有台数はおよそ30台余り。EVの普及には街中の充電器の整備が不可欠だ。市内・ハイブリッド車(PH)を一般向けに市電器が6基、フル充電まで約7時間かかる普通充電器は55基あるが、市内を網羅するにはほど遠く、利用者から充電器増設を望む声は多い。川口さんも「バッテリーの目盛りが4分目まで減り、動けなくなったら大変と思い、充電のためにもとの駐車場に戻った」という。市は本年度中に太陽光発電付きの充電器をさらに3基増設する計画だ。トヨタ自動車は2012年初めまでに、充電ができるプラグインEV(ハイブリッド車(PH)を一般向けに市電器が6基、フル充電まで約7時間かかる普通充電器はさらに望まれるだろう。エコカーに詳しい自動車環境問題NGO・ZEVEX(ゼベックス)の鈴木一史代表(46) 山田辺市は「EVは都市型コミュニティとして将来性がある」と分析。「店先や公共施設など身近でこまめに充電できるよう、低コストの普通充電器でいいので官民一体で街のあちこちに設置してほしい」と話す。

京リポート 10

環境に優しいまちづくりの大切さを児童らに理解してもらおうと開かれた出前授業 一京都市上京区



「環境に優しい」考える

二条城北小 まちづくり出前授業

京都市が上月に策定した「歩くまち・京都」憲章の理解を深めてもらうと、市の交通政策監の水田雅博さんが講師となり、憲章を分かりやすく説明する「出前授業」が市立二条城北小学校（京都市上京区）で開かれた。

車の利用を減らし、環境に優しいまちづくりの大切さを児童に理解してもらおうと市が企画。この日の出前授業には、同校の小学6年の児童約30人が出席した。

水田さんは、イラストや図を交えたスライドを使いながら、車に頼らずに歩くことが健康に与える効能

や、移動の際に自家用車に乗る場合と公共交通機関を利用した場合での二酸化炭素排出量の比較などを説明。歩くことの大切さを含め、「人」と「環境」にやさしい生活のあり方について話し、児童らは真剣な表情で聞き入っていた。

授業後、児童らは「バスも電気自動車にすれば環境によいはず」、「車を使わないで買い物に来た人には安くなるシステムがほしい」などと活発に意見を交換。水田さんは「車は便利だが、環境面にも健康面にも課題が多い。公共交通に乗り換えようとする生活スタイルへと変革することが必要だ」と話していた。

「歩くまち」京都市会議

歩行者幸福度探れ

初会合で指摘 経済調査も

公共交通優先のまちづくりを目指す京都市の「歩くまち・京都 推進会議」の初会合が5日、中京区のホテルで開かれた。施策の効果を検証する目標設定をテーマに議論し、自動車交通量だけでなく、歩行者の「幸福度」や中心市街地の店舗の売り上げなど幅広い視点での調査が必要との指摘が出た。

市は1月、「歩くまち・京都総合交通戦略」を策定し、四条通の歩道拡幅やバス、鉄道の共通乗車券の創設など88施策を掲げた。

府営、国士交通省、学識者ら20人で構成する推進会議は、施策の検証と戦略の見直しを担う。市は戦略で主な交通

手段として自動車を利
用する人の割合を28%
(2000年時点)か
ら20%以下にする目標
を掲げているが、各施
策の効果を詳細にチェ
ックするため、他の目
標も設定することに
し、推進会議に設定の
あり方について議論を
求めた。

会合で委員から、渋
滞発生件数や公共交通
の利用に加え、快適に
歩くことができるかど
うかを示す歩行者幸福
度▽中心市街地の歩行
者が増えることによる
店舗の売上額▽市内の
ガソリン消費量など
交通以外にも経済、環
境面での調査などを求
める意見が出た。近年
多発する自転車と歩行
者の事故件数を目標に

入れるべきとの指摘も
あった。
この日の議論を踏ま
え、市は秋めどに新た
な目標を定め、会議に
諮る。(竹下大輔)

公共交通優先のまちづくりについて議論した「歩くまち・京都 推進会議」(京都市中京区)



タクシーマナー向上を

京都市、業界が会議設立



タクシーの駐停車マナー向上策を議論した会議(京都市右京区総合庁舎)

交通渋滞の一因とな
っている駅前や交差点
内などでの客待ちタク
シー問題を解決するた
め、京都市やタクシー

業界などが9日、「市
タクシー駐停車マナー
向上マネジメント会
議」を設立した。運転
手だけでなく、利用者

にもマナー向上を呼び
掛け、問題解決を目指
す。

市内では駐停車禁止
のバス停や交差点内に
客待ちのタクシーが目
立ち、渋滞の一因とな
っている。市によると、
四条河原町付近では渋
滞により年間約11億円の
経済損失も発生して
いるという。

タクシーを取り締ま
っても効果は薄く、運
転手に自発的なマナー
向上が求められ、利用

者にも正しい乗車場所
の利用を促すため関係
者で協議していくこと
にした。

この日の会議で業界

関係者らから、「料金
のぼらつきが過度の競
争を生み、違反するタ
クシーが多くなる」、

「マナーを改善しない
運転手には運行許可書
を発行しないことも必
要」などの意見が出た
ほか、「マナー以前に
タクシー台数が供給過
剩。流し営業が多いの
に停車場が少ない」
と京都のタクシー業界
の構造的な問題を指摘
する声もあった。

市は運転手へのアン
ケートを実施し、9
月以降に具体的なマ
ナー向上対策に乗り出
す。

(小川卓宏)

地下鉄四条駅に新店する「クリスピー・クリーム・ドーナツ」の店舗完成予想図



「駅ナカ」ドーナツ

京都市営地下鉄烏丸線・

四条駅構内で10月1日に営業をスタートさせる予定の駅ナカ(中)商業スペース

「Kotochika(コトチカ)四条」に、米国発祥の人気ドーナツ店「クリスピー・クリーム・ドーナツ」が進出する。

府内初出店で、関西では大阪・心斎橋店に次いで2店目。

クリスピー・クリーム・ドーナツは米国で約80年の歴史があり、サクッとした食感と、とろけるような生地が楽しめるドーナツを販売する。日本では2006年に東京都渋谷区に1号店がオープンし、現在は計17店舗を展開。

四条烏丸店は、同駅地下1階北側の約70平方メートルのスペースで、店内で食べられる席も12用意する。

烏丸線・四条駅に「クリスピー・クリーム」

同店の新規出店では、オープン直後に長蛇の列ができることが多いが、コトチカ四条を運営する京都市は「南北自由通路を活用すれば、長い行列にも対応できる」。

コトチカ四条には、ほかに婦人服・雑貨の「IND EX」や、高級食品スーパー「成城石井」、府内で人気のパン店「志津屋」など計8店が出店を予定。商業利用面積は地下1・2階の約1200平方メートル(うち店舗面積約530平方メートル)になる。

↑
読売

← 日経

米系ドーナツ「クリスピー」

京都・四条駅内に新店

米系ドーナツチェーン「クリスピー・クリーム・ドーナツ・ジャパン(KDJ)」が、京都市営地下鉄の四条駅構内に新店を出店する。同店は、10月1日に開業する。同店の出店は大阪・心斎橋に次いで2カ所

目となる。今回出店する「四条烏丸店」では14・15種類のドーナツとコーヒーなどの飲み物のほか、Tシャツ、帽子なども販売する。開業当初は四条烏丸店限定のドーナツなども取り扱うという。営業時間は午前10時から午後9時までの予定。KKDJは店舗周辺のオフィスに通勤する人や買い物客が主な顧客になるとみている。持ち帰りが中心になる想定だが、店内にも12席の客席を設ける。

街かど

■四条駅にクリスピー・クリーム・ドーナツとインデックスが出店 京都市は18日、改修を進めている市営地下鉄四条駅構内の商業スペースに、新たにドーナツ店「クリスピー・クリーム・ドーナツ」と服飾・雑貨店「インデックス」が出店すると発表した。「クリスピー」は東京や大阪でも行列ができる人気店。関西での出店は2店目となる。公募をしていた商業スペースの名称も「Kotochika (コトチカ) 四条」に決定。10月1日に全8店舗がオープンする。

毎日

人気のドーナツと服飾・雑貨 出店発表

全8店舗出そろう

京都市交通局は18日、商業スペースとして整備中の地下鉄四条駅(千京区)に、人気ドーナツ店「クリスピー・クリーム・ドーナツ」などの店舗が出店すると発表した。すでにスーパーやカフェなど6店舗が決まっておられ、これで商業スペースの全容が固まった。「クリスピー」は米

日本でも若者を中心に人気が高い。関西では4月にオープンした心斎橋店(大阪市)に続き店舗目となる。また服飾・雑貨店「INDEXX (インデックス)」も進出する。

地下1階の阪急電車との連絡口には店舗のほか、花店「青山フラワーマーケット」とベーカリー店「志連屋」が入る。現在は機械室の地下2階には、スーパー「成城石井」、マツサージなどの「ライフインネ」、夜は酒類も提供する「カフェ・スタジオオーネ」が営業する。

市交通局は経営難の地下鉄増収を狙い、商業スペース「Kotochika (コトチカ)」として約1200平方メートルの整備を進めている。各店舗から賃料と売り上げの一部を受け取るようになっており、年間約1億5千万円の収入を目指している。

各店舗は10月1日に一斉オープンする予定。(小野俊介)

地下鉄四条「駅チカ」

京都

京都市は、公共交通優先の「歩くまち」実現に向け、市民や企業の自発的な取り組みを広げるため、広く民間からモデル事業を募る「スローライフ京都大作戦」を展開する。

募集対象は地域団体や大学、企業などで、

「歩くまち」実現へ 公共交通利用促す

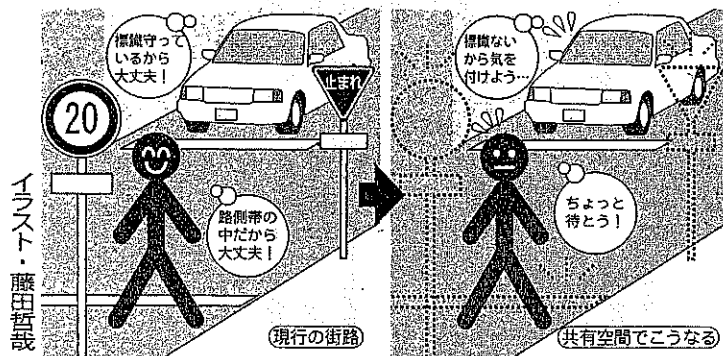
過度に自動車に頼る生活や実施、効果分析の費用、**「歩くまち」**中心活から公共交通利用を**用を500万円を上限**の生活に転換するに促進する事業アイデアに支援する。予算枠は**は、民間の協力が不可欠。どんなアイデアを応募してほしい」と**している。

京都市、事業のアイデア募る

事業は9月下旬から市は、自動車で移動来年1月末までに実施する人の割合を示す**日。問い合わせは市歩**し、効果も自ら調査**動車分担率を、現状のくまち推進室075**ることが条件。選ばれ**28%から将来的に20% (222) 3483。**れば、事業の計画策定に下げる目標を立てて

(小川卓宏)

交通安全 標識よりモラル



イラスト・藤田哲哉

景観配慮 車歩道区別撤廃も

京都市実験へ

細い通りが暮盤目状に走る洛中の歩行者の安全性を高めようと、京都市が近く、交通標識を隠したり車道と歩道の区別をなくしたりする逆転の発想で、通行者の注意を喚起する「シェアードスペース」(共有空間)の実験を始める。全国でも珍しい取り組みで、古都の景観向上を期待する声もある。

【田辺佑介】

同市は、効果があれば市中心部全体に広げたい考えだ。京都市中心部では、事故に発展しないまでも、事故寸前の「ヒヤリハット」事案が日常的に発生。しかし信号やガードレールを乱立させることは古都の景観を損ねる。上のようなことから「共有空間」に詳しい「歩くまち」を目標に建設コンサルタント

京都市は手を加えずに歩行者の安全性を高める手段を模索。ヨーロッパで効果が報告されている共有空間を取り組むが多いが、京都に入れることにした。国土交通省も社会実験として認め、100万円の上限に費用を抛出。市は関係機関と話し合っている。

シェアードスペース(共有空間)に交通事故を減らす取り組みとして、80年代にランタなどで始まった。信号や標識、車道と歩道の区別をなくし、道路上で自動車や自転車、歩行者が互いに注意を払いながら行動するよう促すことで安全を保つ。自動車の速度低下などの効果があり、費用も安上がりなことからヨーロッパ各地に広がっている。

電気バス市内循環

京都市来年2月、試験走行

京都市は2日、三菱重工業（本社・東京都港区）が開発したリチウムイオン電池で走る「電気バス」を、来年2月に市内で試験走行すると発表した。市と同社が同日、市役所で実験などに関する協定書に調印。公募した市民に約2週間試乗してもらい、乗り心地や走行性能を調査し開発に役立ててもらおうという。

【小川信】

同社によると、電気バスで、定員は65人。市役所前には急速充電器を設置する。約1時間の充電で約30キロの走行が可能。市役所前を発着点とする1周約5・5キロと約7キロの循環ルートを設け、四条烏丸や五条京阪など既存のバス停で乗降できるようにする。

同社は実験結果などを基に、12年度の実用化を目指す。一方、市は13年度以降に電気バスを複数台導入したいとしている。



実験で京都市内を走る電気バス

協定書に調印した大宮英明社長は「環境調

和型社会の実現のため、使いやすい電気バスの開発に役立てたい」、門川大作市長は「環境先進都市として積極的に協力したい」と話した。

京都市 13年度以降営業運転

京都市の門川大作市長は2日、2013年度以降に電気自動車（EV）のバス数台を導入し、市バスとして活用する方針を発表した。同日開いた市と三菱重工業との共同記者会見で明らかにした。全国でもいち早く電気バスを実用化し、環境配慮型の交通網を整備する取り組みの一環と実験を始める。市役所

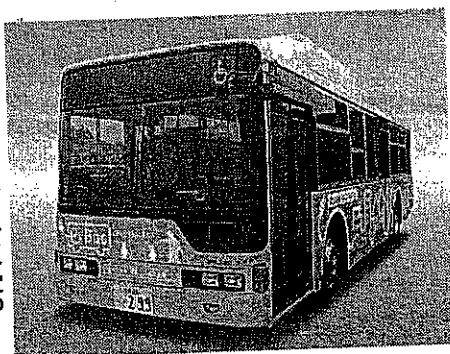
←日経

電気バス導入で協定

京都市と三菱重工締結

来年2月から運行実験

京都市は2日、三菱重工業が開発中の電気バスを導入を推進する。三菱重工は、次世代EV京都プロジェクトについて三菱重工業（東京都）と協定を締結した。市は排ガスを出さない電気バスを2013年度にも導入する方針を表明し、来年2月から運行実験を始める。



実証運行に使われる予定の電気バス

三菱重工は、中京区の市役所を発着点に御池通や川端通、烏丸通などを循環する5・5〜7キロの路線で行う。走行性や安全性に加え、連続運行できる距離や乗り心地、歩行者への影響を調査する。門川大作市長と三菱重工の大宮英明社長は同日、市役所で協定書に調印した。大宮社長は「今後、電気バスは公共交通の基幹になる。知名度が高い京都での実験は意義深い」と期待していた。

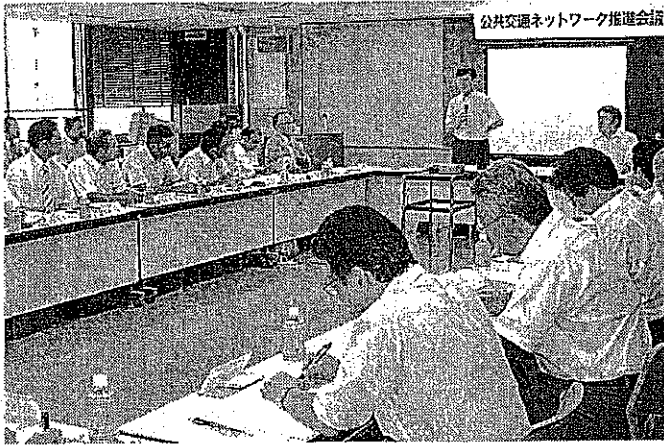
（甲賀史郎）

京都

京都市内1日共通乗車券

阪急など15社参加

公共交通優先のまちづくりの実現に向け、京都市内の交通事業者でつくる「公共交通ネットワーク推進会議」の初会合が3日、中京区の市消防局庁舎であった。発売を検討している市内の鉄道・バス、JR西日本や阪急など15事業者が参加する。公共交通の利用促進策を協議する。



公共交通ネットワーク推進会議
鉄道・バスの利用促進について議論した京都市の「公共交通ネットワーク推進会議」(京都市中京区・市消防局庁舎)

会合では、京都カードへの参加事業者を公表したほか、閑散期対策として観光客向けに発売することや観光施設の割引サービスを検討する案も報告された。価格は未定で、発売開始は今冬以降になる見通し。

府担当者から「京都カードの利用地域は市外にも拡大すべき」との意見が出たほか、民間事業者から「利便性を高めようとする必要があり、採算が合わない。民間の努力だけでは実現できない」との声も上がった。

(竹下大輔)

公共交通連携推進へ事業者会議が初会合

京都市

京都市は3日、市内でバスや鉄道を運行する15の事業者が連携を図る「公共交通ネットワーク推進会議」を設置し、中京区で初会合を開いた。互いに情報共有し、鉄道やバスの乗り継ぎを良くしたり、停留所の案内表示を統一したりして、公共交通の利便性アップを目指していく。

会合では、今後実施すべきプロジェクトとして、各事業者の交通手段で共通して使える乗車券「京都カード(仮称)」を創設することや、観光繁忙期にバスと鉄道が連動して周遊バスや臨時列車を運行することなど

を確認した。市は今年1月、歩行者優先のまちづくりを目指す「歩くまち・京都 総合交通戦略」を策定。▽既存公共交通を再編強化し、使いやすさを世界トップレベルにする▽歩くまちの魅力を最大限に味わえるまちづくり▽歩いて楽しい暮らしを大切にするライフスタイルへの転換、を目指している。

読売 →

↑
京都

京都市地下鉄・バス停周辺

食・遊情報サイト開設

京都市交通局は、地下鉄・市バスの運行と地域情報を一体的に提供する地域ポータルサイト「まいぷれ京都」（仮称）を11月末に開設する。地下鉄駅やバス停周辺のイベントやグルメ情報などを発信し、地下鉄の利用増につなげていく。

交通局 増客へ11月から

「まいぷれ京都」では、地下鉄・市バスの乗客増を図るため、地下鉄駅やバス停から、イベントや話題のグルメ情報など検索できるシステムを導入する。地下鉄を活用したお勧めのお出かけ情報も発信する。地域情報の収集やサイト運営は市内の広告代理店に委託し、運営費はサイトの広告料収入で賄う。市交通局は「公営交通事業者では初の試み。成果を出し、経営難の地下鉄の増客につなげていきたい」としている。

（小野俊介）

未来の公共交通像探る

BRT導入も議論

京都市推進会議 来春までに具体策



将来の京都の公共交通について話し合われた会議
(京都市中京区・市消防局)

京都市は13日、「未来の公共交通推進会議」(議長・土井勉神戸国際大教授)を初開催し、京都の地域特性

門部会のひとつ。公共交通を便利にするため、都市構造や地域特性を踏まえ、改善に向けた手段を検討する。初会合では、土井議長が「これまでは、渋滞解消のため道路整備をやってきたが、今は、公共交通を広げること、で街の魅力を高めていくという世界的な転換期にある」と指摘。「転換期の公共交通政策を発信することが京都の魅力を高めることにつながる」と検討の意義を強調した。委員らは「電車やバスを使う世代を育てれば、自然と(マイカー

から公共交通中心に)変わるのでは」「LRT(次世代型路面電車)域は無視できない」などに代わるBRT(バスによる新都市輸送システム)導入議論では、バス需要の多い洛西地域は無視できない。市は可能な施策から取り組む方針。当面は来年3月末まで、(小川卓宏)

京都市

スローライフ

推進へ

ライフスタイルの転換によって公共交通優先のまちづくりを目指す京都市の「スローライフ京都推進会議」が21日、中京区の市消防局庁舎であった。多くの委員が「我慢を強いる政策では実現は難しい」と指摘し、市民が楽しみながら転換を図れるような政策を求める意見が相次いだ。

「楽しい政策必要」委員ら指摘

検討している。この日は「市民の気持ちを変えるのは難しい。楽しみやお得感が必要」「歩くことでわくわくするイベントを仕掛けるべきだ」など、歩くことによる「特典」の創出を求める意見が多く出たほか、PRに芸能人の協力を求めるアイデアが出された。

公募委員からは「わたしもいけないと思いつつバイクを使ってしまつ。委員の強い決意が必要だ」として、委員自ら率先してマイカー抑制に取り組むべきとする意見もあった。

(竹下大輔)

コトチカ華やか8店舗

京都市営地下鉄烏丸線の四条駅(下京区)で整備されてきた駅ナカ商業スペース「Kotochika(コトチカ)四条」の開業記念式典が30日あり、関係者が地下街の発展と地下鉄増収を願った。1日に8店舗がオープンする。

コトチカは経営難の市営地下鉄の増収対策として、機械設備に使用していたスペース(約1200平方メートル)を約1億5千万円で改修。人気デパート「クリスピー・クリーム・ドーナツ」や、スーパー「成城石井」など8店舗の進出が決まった。

地下鉄四条に 商業施設開業

式典には門川大作市長や店舗関係者ら約100人が出席。門川市長が「地下鉄の増収策は力強く前進している。コトチカがにぎわうことを祈願している」とあいさつし、くす玉を割った。売り上げに応じて市交通局に賃料が入り、年間1億5千万円の収入を見込んでいる。

1日に全店舗がオープンし、各店とも限定品販売などのオープニングセールを行う。(佐々木輔)



京都市営地下鉄烏丸線の四条駅にオープンする商業施設「Kotochika(コトチカ)四条」の開業を祝う関係者ら(30日午後6時、京都市下京区)

開店に向け準備が進むコトチカ四条の店舗
地下鉄四条駅で



コトチカ四条

1日にオープンする商業スペース「コトチカ四条」の開業記念式典が30日、京都市営地下鉄四条駅であった。女性を主なターゲットとし、人気のドーナツ店や生花店、スーパーなど8店が出店する。空きスペースの活用と地下鉄の利用客増を目指す市交通局が整備した。

コンコースや機械室となっていた地下1階と地下2階の空きスペース530平方メートルを店舗にし、新たにエスカレーターやエレベーターも設置した。式典に参加した門川大作市長は「待ちに待ったオープン。大いににぎわってほしい」と期待を寄せた。

20～40代の女性を主なターゲットとし、インデックス(服飾・雑貨)▽クリスピー・ドーナツ(ドーナツ)▽青山フラワーマーケット(生花)▽志津屋(ベーカリー)▽カフエ・スタツィオ・ネ▽成城石井(食品スーパー)▽ラフ・アイネ(リラクゼーション)▽駅ナカスイーツ——の8店舗が出店する。

3日まで、計1000円以上の買い物をする、毎日先着300人にオリジナルグッズをプレゼント。また、7日までの間、各店舗ごとに限定商品の販売や割引などのオープニングセールを実施する。

【田辺佑介】

女性ターゲットの8店舗

地下鉄四條駅のドーナツ店で長い行列をつくり、
順番を待つ買い物客（1日午前10時10分、京都市
下京区）＝撮影・山本陽平



ドーナツ店 4時間待ち 長い列 コトチカ、オープン

京都市営地下鉄四條駅（下京区）の商業スペース「Kotochika」（コトチカ）四條が1日午前、オープンした。京都初出店となる人気ドーナツ店「クリスピー・クリーム・ドーナツ」に長い行列ができるなど、買い物客でにぎわった。

同ドーナツはとろける食感が好評で、関西では大阪市内に続いて2店舗目。午前10時の開店を前に約400人が行列を作り、午前中は最大4時間待ちとなった。

午前4時から並んだ立命館大生の長谷川裕太さん（23）＝中京区＝は購入したドーナツを早速食べ、「めちゃくちゃおいしい」と笑顔を見せていた。

コトチカは経営難の地下鉄増収に向け、市交通局が整備。スーパー「成城石井」や夜には酒類も提供する「カフェ・スタツイオーネ」など計8店舗が開店した。（小野俊介）

四条新風 駅ナカに列

8店舗「Kotochika」開店



オープンしたコトチカ四条で、人気のクリスピー・クリーム・ドーナツを求めて行列を作る買い物客ら（下京区で）

京都市営地下鉄・四条駅の構内に、商業スペース「Kotochika（コトチカ）四条」が1日、開業した。地下1階と地下2階の約1200平方メートルで、米国発祥の人気ドーナツ店「クリスピー・クリーム・ドーナツ」（地下1階）、食品スーパー「成城石井」（地下2階）など全8店。地下鉄利用者や買い物客らが、大勢訪れ、初日は終日にぎわった。巨額の累積赤字に苦しむ京都市交通局は、地下鉄利用の起爆剤にしたい考えだ。

入居するのは、地下1階が、生花店「青山フラワーマーケット」、服飾・雑貨「インデックス」など5店で、地下2階は、喫茶「カフェ・スタツイオーネ」など3店。大阪・心斎橋に続く関西2店目となる「クリスピー・クリーム・ドーナツ四条烏丸店」は、早朝から開店を待つ客が多数詰めかけ、開店の午前10時には約400人の行列に。店頭には、4時間待ちの看板が設置された。妹と並んで開店を待った

地下鉄活性化へ 人気洋菓子やスーパー

女性会社員(23)は「以前に食べて気に入った。京都にもできると聞いて、今日は会社を休んで来ました」と話した。

また、クリスピー・ドーナツの斜め向かいの洋菓子店舗「駅ナカスイーツ」も開店前から長い行列が。月や週替わりで各地の人気スイーツを登場させる販売展開で、初日は「モンシュシュ」（大阪市北区）が作るロールケーキ「堂島ロール」が用意（7日まで）され、人気を博していた。

このほか、成城石井では、お菓子の詰め合わせ（2000円）や、包装で中身を隠したお楽しみワイン（3675円）などの限定販売があった。

四条烏丸周辺は、大人の女性を狙った商業店舗が増加、地価も上昇傾向にあり、コトチカ四条は、こうした勢いをもり立てそう。

低炭素社会構築へ

ノーストップバス運行 京都大 証

環境にやさしい都市
造りを研究する京都大
大学院工学研究科・低
炭素都市圏政策エニッ
トは15日、京都駅八条
口(京都市南区)一府
総合庁舎市会館一パル

スプラザ」(伏見区)
間でノーストップバス
を走らせ、社会的、環
境的効果などを分析す
る実証運行を始める。
パルスプラザ周辺に

地するが、京都駅と直
結するバス路線がな
く、市営地下鉄線や近
鉄京都線からバスなど
へ乗り換える必要があ
った。このため、自動
車を利用した方が便利
で、付近は広い停車場
を持つ施設が多く「ス
カスカ」な低密度の土
地利用になっていると
いう。

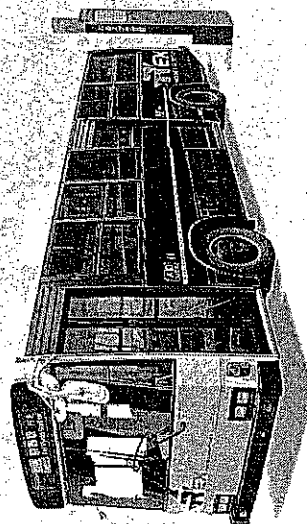
そこで、「公共交通
の利便性を向上させ、
エネルギーの効率性が
高く、環境負荷の少な
いコンパクトな都市構
造に転換することが求
められる」(同エニッ
トの中川大教授)とし、
実証運行を始めること
になった。

運行は民間バス会社

に委託。八条口からパ
ルスプラザまで平日の
朝夕15分、昼間20分間
隔で、60人乗りの大型
路線バスを走らせる。
運賃は300円で、所
要時間は最短15分。1
日600人の利用を見
込んでいる。

実証運行は1年以内
だが、終了後はバス事
業などによる一般バ
ス路線として継続する
ことを目指し、パルス
プラザ以南への延伸も
図るといふ。中川教授
は「大学の持つ公共交
通に関するノウハウを
生かし、低炭素社会を
構築することで社会貢
献していきたい」と話
している。

【広瀬登】



バスには京都からくなんエクスプレス(R'EX)
の愛称が与えられる。京都大低炭素都市圏政
策エニッット提供

四条駅コトチカ効果 早速 乗降客1日6500人増

京初進出
有名店にぎわう



「コトチカ四条」の出店でにぎわう地下鉄四条駅
(7日午後5時40分、京都市下京区)

京都市交通局は7日、市営地下鉄烏丸線四条駅(下京区)の駅ナカ商業スペース「Kototchi」(コトチカ)のオープンで、乗降客増につなが

つたとみている。交通局は同日の市議会公営企業決算特別委員会で、1、3日の四条駅の1日平均乗降客数は7万7275人で、昨年度同期に比べ約6500人増えたことを説明した。

コトチカは市営地下鉄の増収対策で地下の機械設備室を商業スペースに改修し、8店舗が1日開業した。関東地方で人気のドーナツ店「クリスピー・クリーム・ドーナツ」や食品スーパー「成城石井」など京都初進出の有名店も多く、にぎわっている。

(竹下大輔)

便利 + 低炭素 = 魅力あるまち

京大 最大規模 路線バス実験

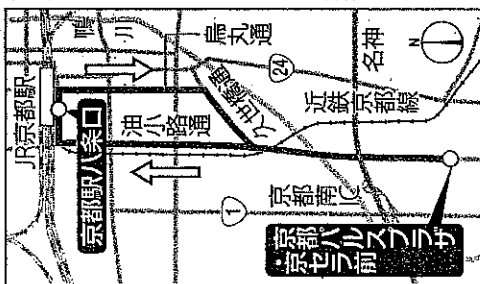
京大は、京都市南部の高度集積地区「らくなん進都」に新たな路線バスを走らせる交通実験を15日から始める。便利な公共交通で脱自動車を進め、環境に優しいまちづくりを進める。大学が行う路線バスの実験として全国最大規模になるという。

京都市・らくなん進都



新たに京都市南部を走る「京大らくなんエクスプレス」。黒を基調としたインパクトの強いデザインで利用者にアピールする

京大らくなんエクスプレス運行ルート



継続運行を目指す

路線バスは「京大らくなんエクスプレス（略称R&E）」と名付けた。京都駅八条口と伏見区のパルスプラザ・京セラ本社を直行でつなぐ。運行は民間事業者に委託し、午前6時台から午後10時台まで朝夕は15分間隔、昼間は20分間隔で走らせる。所要時間は15〜18分で、運賃は300円に設定した。

実験を行うのは、京大工学研究科が経営管理研究部と連携して都市と交通計画の政策支援や人材育成に取り組む「低炭素都市圏政策ユニット」。

パルスプラザ周辺は公共交通機関が乏しく、駐車場や空き地が多い低密度な土地利用になっている。公共交通機関の導入で、自動車利用を前提としないコンパクトでエネルギー効率の高いまちづくりを進めるのが実験の狙いという。

バス交通の活性化もめざしており、利用動

向調査や住民アンケートを行い、新しいバスシステムの構築を図る。1年以内に実験を終え、通常のバス路線としての継続運行を目指す。パルスプラザ以南への延伸も検討中。

同ユニットの中川大教授(都市・交通計画)は「まちづくりが進み、利用者が生まれてからバスを走らせるという後追い型の発想から転換し、まず便利が公共交通機関を提供することで、魅力的なまちづくりを進めたい」と話している。(目黒重幸)

京大、路線バス運行

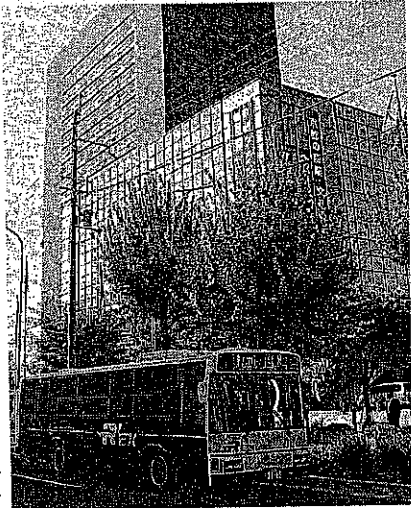
「低炭素政策」市などと連携 京都駅・京セラ本社間

京都大学などは京都駅と京セラの本社前を結ぶ直通路線バス「京都らくなんエクスプレス」を15日から運行する。地下鉄や市バスなど従来の交通網が充実していない区間にバスを走らせ、マイカーやタクシーで通勤している人の需要を取り込む狙い。大学が主体となつてバスの路線を新設するのは全国的にもめずらしいという。

京大工学研究科の中川大教授らが構成する「低炭素都市圏政策ユニット」が国土交通省や京都市と連携し実現した。バス運行は送迎バス会社の

京都大学などが運行する「京都らくなんエクスプレス」(京都市伏見区)

ケイルック(京都市、本田欣也社長)に委託する。京都駅南口のバス停と京都市伏見区の「パルスプラザ・京セラ前」を15



は18分で移動できるようにする。運賃は300円。朝夕の通勤時間帯は15分間隔、それ以外の時間帯は20分間隔で発車し、当面は平日限定で運行する。来年以降に路線を延伸し、伏見区の油小路大手筋付近にもバス停を新設する。

京都市バス収益改善

京都市交通局は12日までに、2009年度の市バスの路線別収益状況をまとめた。全74路線のうち、黒字路線は18路線で前年度から4路線増加し、運賃収入の2倍以上の経費のかかる深刻な赤字路線も前年度17路線から12路線に減った。燃料費の下落や職員削減の効果で収益が改善したとみている。

100円の利益を上げるのに、いくら経費(人件費、燃料費など)がかかっているかを示す営業係数をみると、最大の黒字路線は京都駅と中心市街地を循環する206系統で、営業係数は68・05。京都駅と観光名所をつなぐ100系統の68・16などが続く。

一方、竹田駅西口か

黒字は4路線増加 深刻赤字5路線減

09年度まとめ

ら桂駅東口間の住宅比較すると収益差は4地を巡る南1系統が最も倍以上に達している。も収益の悪い路線で297。206系統とは104で赤字体質

燃料費下落、人件費削減が効果

路線名	営業係数	主な経由地
①206系統	68	北大路バスターミナル～京都駅前
②100系統	68	京都駅前～祇園～東山七条
③207系統	75	九条車庫前～東福寺～四条大宮
④17系統	78	錦林車庫前～四條河原町～京都駅前
⑤203系統	79	祇園～北野白梅町～銀閣寺道
①南1系統	297	竹田駅西口～桂駅東口
②84系統	267	太秦天神川駅～京都駅八条口
③42系統	239	京都駅前～久世橋西詰～洛西口駅前
④78系統	237	京都駅前～久世工業団地前
⑤19系統	225	中書島～城南宮～京都駅前
平均	104	—

【京都市バスの路線別収益】

○内の数値は順位。営業係数は100円の利益を上げるのに、何円の経費がかかったかを示す数値。数値が小さいほど利益の大きい黒字路線で、数値が大きければ経営の苦しい赤字路線となる。

が続いているが、前年度に比べ10%改善した。

その理由として、交通局は、1日当たりの乗客数は新型インフルエンザなどの影響で前年度比5千人減の約31万1千人だったが、原油価格下落で燃料費が

約5億円削減できたことが大きいとしている。また職員削減で人件費を4億円減らし、バスの整備点検を民間委託するなど内部改革の成果もあったという。交通局は現在、営業係数200以上の赤字路線で各バス停に係数を掲示しているが、今後は全路線に掲示する方針。路線別の収益状況を周知することが狙いだが、「特に苦しい赤字路線では利用するよう訴えたい」としている。

(竹下輔)

京大路線バス実験開始

脱自動車促進目指す



実証実験の始まった路線バス「京都らくなんエクスプレス」(京都市伏見区、パルスプラザ・京セラ本社前)

京都駅↓らくなん進都

京都大は15日、J・R京都駅八条口とパルスプラザの京セラ本社(京都市伏見区)をつなぐ路線バスの実証実験を始めた。大学が行う路線バスの実験としては全国最大規模といい、白と黒色のコントラストを効かせたバス「京都らくなんエクスプレス(略称REX)」が乗客を運んだ。パルスプラザのある高度集積地区「らくなん進都」で公共交通を

充実させる目的。脱自動車を進め、企業進出や住環境の面で課題が残る同地区の魅力も高めたいという。

バスは約60人乗り。午前6時台から3台が15分間隔で運行した。午後には、同大学や近畿運輸局、市の関係者ら約40人がパルスプラザ前でセレモニーを実施。実験を行う同大学「低炭素都市圏政策ユニット」の中川大教授(都市・交通計画)

が「実験だけで終わるつもりはない。時間をかけて継続する仕組みを作り、魅力的なまちにしたい」とあいさつした。

当面の乗客目標は1日500〜600人で、初日は朝の1時間で約150人が利用したという。

(松田ゆい)

自転車のマナー向上を目指して京都市は来月、御池通の烏丸通―河原町通間(約800m)の北側歩道で、路面にテープを張って歩行者と自転車の通行区域の分離をはっきり分かるようにする実証実験

をする。現在は景観に配慮し白いブロックを使って自転車の通行区域を分けているが、表示が不明瞭で区域を無視して走行する自転車が後を絶たない。指導員も配置し、通行マナーを呼び掛ける。

→京都

テープで分離 自転車

歩行者 安全通行実験



御池通の歩道。自転車の通行区域を示す表示はあるがルールは徹底できていない(19日京都市中京区)

御池通烏丸―河原町間

自転車は道交法で、車が関係する事故は年交通量の多い幹線道路間2千件を超している。沿いの歩道は自転車の乗り入れが可能だが、御池通の歩道は自転車道寄りの通行が求め、車と歩行者の区域を分かれる。しかし、市内では歩道いっぱいには2層間隔で埋め込んで走ったりスビでいるが、自然石を模したデザインのため、自転車が多く、自転車道環境整備課は「表示

京都市、マナー向上へ来月

車道寄り走行呼び掛け

示が見づらく、歩行者と自転車が入り乱れて通行しているという。自転車道が車道寄りを走行するルールを知ってもらおうと実験を企画した。

実験は11月12、18日の1週間。午前7時、午後5時で、歩道約6mのうち車道寄り約2mを自転車通行区域に設定し、白色テープで区切る。自転車通行区域を示す紫色のシールや案内板も40力所以上に設置する。

市は期間中、分離によるマナー改善の効果を確かめ、通行人へのアンケートもする。道路環境整備課は「他の歩道にも同様の取り組みを広げるなど自転車通行の環境整備に役立てたい」としている。

(広中孝至)

自転車と歩行者
市中心部で分離

京都市が来月実験

京都市は11月12日から1週間、市中心部の御池通で歩行者と自転車利用者の通行空間を分離する。河原町通から烏丸通までの東西約800mの区間が対象。観光客などが歩きやすい街づくりに向けた実証実験との位置付けで、歩行者と自転車の接触事故の抑制などの効果を見込む。

幅6mある歩道の通行可能部分を白色のテープで区切り、4mを歩行者向け、2mを自転車利用者向けとする。市は結果を分析したうえで、継続的な通行空間の分離を検討する。

→日経

歩行者安全確保へ 自転車と分離実験



御池通での通行実験の
イメージ＝京都市提供

京都市、御池通の歩道で来月

京都市は19日、御池通(中京区)の歩道の一部区間で、歩行者と自転車の通行空間の分離実験をすると発表した。期間は11月12～18日の1週間。歩行者の安全確保のため、期間中は自転車の利用者らに交通ルールを守るよう呼びかける。

実験は期間中の午前7時から午後5時まで、御池通の北側歩道の河原町通～烏丸通の区間(約800㍎)で実施する。車道側の自転車の通行帯(幅約2㍎)に白いテープを引いて通行案内板を設置し、自転車を通る空間をはっきり示す。指導員らが交通マナーの啓発活動もする。市は、歩行者や自転車利用者らにアンケートも実施し、ほかの歩道も含め今後のあり方を検討するという。

↑ 朝日

(小林正典)

歩行者と自転車 分離

御池通 テープや案内板で実証実験

京都市は19日、歩道での歩行者の安全な通行を守るため、案内板やテープで歩行者と自転車の通行スペースを分離する実証実験を、市中心部の御池通で来月12～18日に行うと発表した。

市によると、道幅が広い御池通の歩道では、自転車が速度を上げる傾向にあるため、歩行者との接触事故が多い。現在も自転車と歩行者を分離するブロックが設置されているが、あまり効果がなく、新たな対策として案内板やテープで分離

自転車と歩行者を分離する実証実験のイメージ図



する方法を試すことにした。実験する区間は烏丸通から河原町通までの約800㍎。幅約6㍎の通行スペースのうち2㍎を自転車スペースとして白いテープで区切って分離。また、注意を呼びかける案内板(高さ約40㍎、幅約15㍎)を16カ所に設置し、自転車のマークの路面シールを28カ所に張って注意を促す。

実験は午前7時～午後5時で、交差点には誘導員らを配置。市は本格的な導入も視野に入れ、市民アンケートなども行うことにしている。

↑ 産経

中心部の土地開発促す

京都市、駐車場の設置義務緩和へ

京都市が一定規模以上の建物を新築・増築する際に義務付けている駐車場の設置基準を大幅に緩和することが20日、明らかになった。週内に発表する。設置を義務付ける台数を商業施設で35%程度、オフィスで40%程度減らし、土地の有効活用を促す。市の駐車場条例を改正したうえで、2011年春からの実施を目指す。(社会面参照)

マイカー抑制 公共交通利用増狙う

四条周辺や京都駅周辺、場の設置を義務付ける建物の中心部にあたる「駐車場整備地区」、商業平方メートルから200平方メートル(約1900坪)では、駐車場の設置台数は2台から1

京都市の駐車場設置基準

現行基準	新基準
1500平方メートル超	2000平方メートル超
2台	1台
商業施設、オフィス、工場・倉庫とも延べ面積200平方メートルにつき1台	商業施設は300平方メートルにつき1台、オフィスは350平方メートルにつき1台、工場・倉庫などは400平方メートルにつき1台
建物の敷地から200メートル以内	建物の敷地から500メートル以内
(注)京都市の中心部にあたる「駐車場整備地区」「商業地区」「近隣商業地区」(約1900坪)の場合、駐車施設までの距離は、敷地内への設置が困難で離れた場所を駐車場として利用する場合の距離制限	



京都市は条例改正で駐車場の増加を抑える(中京区の御池地下駐車場)

台に引き下げる。中心部でも、現行より基準を緩和する。建物の規模に応じた設

神戸市も建物の付属駐車場に関する条例を2008年に改正し、基準を緩和した。同市では支店や営業所を大阪などに統合し、事務所ビルが空洞化する傾向が強まっていた。条例改正により、新しいオフィスビルの建設や建て替え促進に一

神戸は06年緩和

ビル建設など効果

定の効果があったもよう。「以前の条例は1990年神戸市では「百貨店やその他の商業施設、事務所は建物面積200平方メートルにつき1台」と義務付けていた。従って、改定後は事務所(計画部)ため、実情に合った「建物面積300平方メートルにつき1台」に緩和した。わけての条例改正だったと、同市の都市計画総局は説明する。

置台数の加算方法も見直す。中心部の商業施設では、現行は200平方メートルごとに1台を加算していたが、新基準では300平方メートルごとに1台加算。延べ面積1万平方メートルのビルを新築する場合、現行基準では44台以上の駐車場が必要だが、新基準では27台以上になる。商業施設のうち小売店については大店立地法でも駐車場の設置が義務付けられているため、市は近く経済産業省に駐車需要の実態を報告したうえで設置基準を引き下げ、ホテル、映画館など小売店以外の商業施設に比べ、当初の緩和は大幅になる見通し。マンションは別の条例で駐車場設

置基準を定めており、今回見直しの対象外だ。市は設置基準の緩和を通じてマイカーの流入を抑制し、公共交通の利用を促す方針。土地を柔軟に利用できるような狙いもある。東京カンテの中山登志朗上席主任研究員は「従来なら駐車場に割いていた部分を有効活用でき、事業者が採算をとりやすくなる」と、京都市の中心部は新規開発の余地が少ないうえ、景観保護のために条例で建物の高さを規制しているため、これまで進出のハードルが高かった。今回の設置基準の見直しは市内への進出を検討する事業者にとって追い風になり、中心部の地価の上昇にもつながりそうだ。

欧州の主要都市歩道広げ客呼ぶ
京都府立大学の宗田好史准教授の話。パリ、ローム、ロンドンなど欧州の主要都市では自動車の交通量を抑制して歩道の幅を広げ、買い物客を呼び込んでいる例が多い。

一方、日本では違法駐車を増やすために駐車場の増やしてきたが、結果的に店舗数の減少など都市の衰退を招いた。交通網が発達した都市部では、自動車の利便性が低下すれば自然に公共交通への乗り換えが起きるはずだ。

建築物の駐車場義務緩和へ

物の規模に応じて駐車場台数の確保を義務づけている市駐車場条例の設置基準を緩和する方針を固めた。「歩くまち・京都」の実現に向け市内の駐車場台数を抑制していくのが狙いで、来年の2月市議会では条例改正案の提出を目指す。改正の柱は「定規模以上の建築物を新築、増築する際、一律に課している義務基準を商業施設や事務所、工場など施設用途」ことで細分化し、その上で、床面積200平方メートル以上1台増やすよう求めている。また、市が所有する駐車場の設置基準値を3割引き下げる。改正案は、市議会に提出された。市は、改正案が市議会に提出された。市は、改正案が市議会に提出された。

00〜500平方呎に緩和する。市の試算では、新しい駐車場の設置台数が年間6割程度に抑えられる見込みという。

また、市中心部のにぎわい創出を目指して設定した「歴史的都心地区」（御池通―四条通、烏丸通―河原町通に囲まれた地域）への車の流入を減らすため、同じ敷地内での駐車場確保が難しい建築物に対し、半径200呎以内で確保するよう求めた距離制限も

半径500呎に拡大する。

同地区周辺や京都駅周辺で鉄道、バスなど公共交通の利用促進策に取り組む大規模商業施設には、個別に義務基準の引き下げも検討していく方針だ。

6月に策定した市駐車施設基本計画に基づく規制緩和で、都市計画課は「車から公共交通への転換を促す一助になる」としている。

（広中孝至）

(広中孝至)

京都市が発表

→ 日經

京都市方針 車利用抑制、空間活用へ

詭壳

京都市

朝日

(岡見理沙)



ふじい・さとし 1968年奈良県生駒市生まれ。京都大工学研究科修士。東京工業大教授などを経て、2009年から現職。専門は交通工学、公共心理学。現在、京都市の「歩くまち・京都」推進会議委員も務める。

私論公論

「歩くまち・京都」

クルマとの関係再考を

「歩くまち・京都」というのは、京都市が目指しているまちのイメージだ。これは「クルマ」で埋め尽くされた都会のイメージとはかけ離れたもので、「歩いていて人にぎわうまち」というものである。もちろん、たくさんの方がまちを訪れるためには移動手段が必要だが、そんな手段はもちろん電車やバス、タクシーなどの「公共交通」であるべきで、「クルマ」ではあってはならない。

京都大工学研究科教授

藤井 聡

は「古都」の風情になじまない。だから京都にはクルマよりも「公共交通」、そして「歩く人」がふさわしいのだ。しかし現実には「歩くまち・京都」はなかなか実現しない。例えば、まちなかの道路の「クルマの車線」を減らしたり無くしたりして、そこを歩道や自転車道にすればいいじゃないか、と議論されてきた。あるいはクルマのための車線を使って新しいタイプの路面電車(LRT)をつくればいいじゃないか、という事も指摘されてきた。しかし、これらの抜本的な対策はいずれも実現していない。

なぜなのか。その理由には例えば、京都市の行政の進め方の問題や、一部の人々の反対など、さまざまなものがある。しかしそれはいずれも、どちらかと言えば「本質的」な理由ではない。「本質的」な理由は何かと言えば、それは「皆がクルマを使う」という至ってシンプルな事実にある。当たり前だが、もしも皆がクルマを使わなければ、自動車の車線を減らして路面電車や歩道をつくる事など簡単にできてしまう。だから、もし私たちが少しずつでもクルマ利用を減らしてもっと歩けば、「歩くまち・京都」の実現はグンと近づくのだ。

しかし、いくら京都市民がクルマ利用を控えても、外からたくさんの方がクルマで来れば、元も子もない。だから京都に流入するクルマを食い止めるために、通過交通を迂回(うかい)させるための「環状道路」、外からのクルマを受け止めるための名神高速の出入り口あたりの「大規模駐車場」、そしてそんな駐車場とまちを結ぶ「公共交通」等の整備が必要なのだ。(そしてこれさえあれば、「ロードプライシング」だって現実味を帯びるのである。)つまり「歩くまち・京都」

駐車場 園部、伏見で拡充

京都市 秋のパーク&ライド

過去最大、計3600台分

京都市は秋の観光シーズンに実施する「パークアンドライド」計画をまとめた。京都縦貫自動車道の無料化や第二京阪道路の全線開通の影響で渋滞が予想されるなか、JR山陰線園部駅(南丹市)近くに駐車場を初めて確保し、交通渋滞が発生する。市



無料化で混雑する京都縦貫自動車道の沓掛インターチェンジ。秋の観光シーズンはさらなる渋滞が予想される(6月28日、京都市西京区)

第二京阪開通、縦貫道無料 交通量増に対応

は2002年からマイカー抑制のため、周辺部に民間駐車場の協力を得たり、臨時駐車場を設け、公共交通での移動を促す「パークアンドライド」を実施し、徐々に駐車台数を増やしてきた。

今シーズンは高速道路料金の「上限千円」継続のほか、6月末から京都縦貫道が無料化され、交通量の増加が想定される。このため、亀岡市内の139台分に加え、園部駅近くの民間駐車場に112台分を確保。沓掛インター(西京区)まで行かずに「途中下車」を推奨する。

3月に全線開通した第二京阪道路の利用増も見込み、地下鉄竹田駅(伏見区)近くの職員駐車場(30台)を11月下旬に初めて開放するなど南部エリアの台数も増やす。

経営難の市営地下鉄の増客に向け、六地藏駅(宇治市に近い)「タイムズ桃山六地藏住宅博」(98台)では28日から、ICカード「PiTaPa」で地下

【秋のパーク&ライドに協力する主な駐車場】

	駐車場	台数	最寄り駅	1日最大料金(休日)
通年実施	京都リサーチパーク(下京区)	280	JR丹波口	1000円
	タイムズ桃山六地藏住宅博(伏見区)	98	地下鉄・JR・京阪六地藏	400円
	明日都浜大津公共駐車場(大津市)	381	京阪浜大津	500円
11月のみ	タイムズグルメシティ近畿山科店(山科区)	100	地下鉄柳辻	800円
	コンセプトJR園部駅前(南丹市)	112	JR園部	600円
臨時	京都大ローム記念館(西京区)	100	阪急桂	無料
	京都運輸支局(伏見区)	220	地下鉄くいな橋	無料
	交通局地下鉄竹田駅車両基地(伏見区)	30	近鉄・地下鉄竹田	無料

※臨時駐車場は、11月20、21、23、27、28日。料金は時間帯によって変わる

鉄を利用すると駐車料金一部利用者に阪神高速から200円割引引くからETCポイント(500円分)が贈られる。問い合わせは市歩くまち京都運輸支局(20台)では推進室075(2322)3483。(竹下大輔)

京都市バス「取り締まりカメラ」設置案

京都市バスにカメラを設置し、運行の妨げとなる違法駐車映像を府警に提供する市の事業が、予定されていた10月になっても始まっていない。違反車両以外の車や通行人も映る可能性があり、プライバシー侵害の懸念が

あるとして、過去2回の市個人情報保護審議会で継続審議となっているためだ。3度目の審議会は28日にあるが、市は「運用のルールを明確にし、個人情報の扱いにも十分注意する」として理解を求める。【田辺佑介】

2010・10・27

きょうの

市「違法駐車排除に必要」



止まっている車両の脇から回り込んで停車所に入る市バス
四條河原町付近で



市は、四條河原町やJR京都駅前で、違法駐車

プライバシー侵害壁に

による運行への支障が出年度の当初予算で900万円を計上した。前方にカメラを設置し、違法駐車車両の映像を府警に提供して取り締まりを求める方針を決定。事故の状況を記録し、原因分析や運転士の研修に役立てる事業と合わせ、今

車両をカメラで記録。映像を提供することにも画像から持ち主を割り出る。市民団体「監視社会を拒否する会」の共同代表を務める龍谷大の福島至教授(刑事法)は「取り締まりのための活動は警察がすればいいことで、市の業務ではないはず。請の段階で応じていると

市個人情報保護審

あす3度目の審議

れなかった。7月には「営業車両はナンバプレート」のわかる静止画を提示し、「個人車両は特に悪質な場合に限り、ナンバを文字にして通報」とする案に修正したが、審議会への提出文書に運用の詳細がなく不明確として、再び認められなかった。2回の継続審議は、94年の審議会発足以来初めての事態だ。

東京都では、都バスを含む5事業者が、バス優先レーンを走行する一般車両は別に撮影した映像自体

一方、バスの車外をカメラで撮影することは、本人の了解がないまま記録されることになるため、反発の声もある。事件などで、捜査機関から正式な手続を経て提出を求められれば、運用規定としながら正しく運用していく」としている。

市は、運用面を明確化した上で28日の審議に臨む。「今までもキャンペーン期間を設け、職員が協力を求めるなどしてきたが限界がある。撮影していることを十分に周知

市バスカメラ

静止画像提供を承認

個人情報保護審 違法駐車、府警に

京都市交通局が市バス前方にカメラを設置する。市はバス停付近の違法駐車を防ぐため、バス20台にカメラを付けて違法駐車映像を府警に提供し、取り締まりを要請する方針を決めた。しかし、審議会では「運用方法が不透明」との指摘があり、6月、7月の会議では継続審議となっていた。このため、交通局は

対応マニュアルを提出し、承認された。同局の松本建次自動車部長は「市バスの定時制確保のため、悪質な車でも確認した場合と定める。個人情報には最大限配慮して運用していく」とした。

(竹下大輔)

「プライバシーへの配慮が不十分」と指摘され2度も継続審議となっていたが、同局が提供は静止画像にとどめるなどの修正方針を示し、了承された。来

→京都

京都市バスに監視カメラ

条件付きで承認 個人情報保護審

京都市バスに設置したカメラで違法駐車車両を撮影し、府警に情報を提供する。開始する。

→毎日

安全な運行に支障が出ているとして、違法駐車を繰り返す悪質な車両をカメラで撮影し、府警に情報提供して取り締まりを要請する。提供される情報は、個人の車両について、ナンバーと撮影日時・場所、タクシーやトラックなどの法人車両は、無関係の通行人や車両をモザイク処理するなどした静止画を提供する。

同事業はプライバシー侵害の懸念から過去2回の審議会では継続審議となっていた。今回も委員からは「運用マニュアルの全容が分からない」との声もあった。【田辺佑介】

京都

烏丸

四条通

川端

京都市、年度内まで

歩道拡幅へ再実験

京都市は29日、四条通(烏丸―川端)の歩道拡幅に向けた社会実験概要を公表した。11月から来年3月まで断続的に実施し、タクシー乗り場削減やバス路線の迂回に取り組み、2007年に一般車の通行を制限する大規模な実験を展開したが、今回は周辺地域への影響に配慮し歩道拡幅や交通規制をせず交通量調査が中心になる。

交通規制は行わず

市は07年10月に四条通の歩道を広げ、一般車両の通行を禁じる実験を実施。09年6月には烏丸―川端間(約1.1キロ)で歩道を2倍に拡幅する案を策定した。しかし、府警や地域から交通渋滞の発生や荷さばきの混乱などの指摘があり、歩道拡幅時の問題を解決しようと再実験を行う。

実験は6項目に分け、項目ごとに時期を変えて約1カ月間ずつ実施する。主な内容は1月は運送業者の荷さばきを午前中に集約し、

近くは荷さばき場を設けて手押し車による配送を試みる。2月は四条通を通るバス路線の一部を迂回させ、3月は6カ所あるタクシー乗り場を削減する。市は当初、歩道拡幅の実験も検討したが、関係者から交通規制に慎重な声が上がったため見送った。

市は交通量やバスの運行状況、タクシーの駐停車台数などを調査して、11年度に詳細な計画を作る。早ければ12年度にも工事に取掛かる方針。

(竹下大輔)

タクシー 乗り場減 / バス 路線迂回

公共交通優先

四条通で実験

京都市は29日、バス停の削減やタクシー乗り場の見直しに向けた社会実験を四条通で実施すると発表した。市中心部の慢性的な交通渋滞を解消するため、交通量や駐車台数の変化を検証する。11月から来年3月まで断続的に行う。

対象は四条通の烏丸通―川端通の東西約1.1キロ。四条通の烏丸側近接して複数あるバス停を集約し、バスが時刻通りに到着できるかを調べる。6カ所あるタクシー乗り場も減らしてみ、車両の抑制効果を見る。交通の支障となっていない荷さばき車両については、時間を午前中に限定したり、共同の荷さばき場所を設置したりして影響をみる。

日経

朝日

現在、四条通は片側2車線で慢性的に渋滞している。歩行者と公共交通優先のまちづくりをめざす市は車道を片側1車線にし、歩道の幅を1.5倍に広げる計画を検討している。(岡見理沙)

四条通、来月から交通実験

京都市、歩道拡幅にらむ

交通量抑制が見込める複数の手法を11月から試す。交差点やバス停に駐停車するタクシーへの指導、四条通からの迂回(うかい)を促す看板の設置、共同の荷さばき場の限定、四条通を通過するバスの運行ルートの見直し、タクシー乗り場の集約をそれぞれ1カ月ずつ実施する。

コトチカで烏丸活況

四条駅乗降客1日4000人増 前年比

京都市営地下鉄烏丸線四条駅構内(下京区)の商業施設「コトチカ四条」に首都圏の有名店が相次いで進出した効果で、四条駅の1日平均乗降客が10月の開業から1カ月で昨年同期比で約4千人増加した。阪急百貨店の撤退など河原町エリアの「地盤沈下」が指摘される中、四条烏丸に注目が集まっているとの見方も出ている。

開業1カ月、好調続く

コトチカは経営難の地下鉄増客を狙い、通路や機械室の空きスペース(1200平方メートル)を国の交付金5億円を使って改修。道路地下は、原則店舗出店などの占有が禁じられているが、国の規制緩和によって市が特別に許可し、10月1日に8店舗が開業した。

市交通局によると、10月31日までの四条駅1日平均乗降客は約8万1千人。昨年同期に比べ40人増えた。コトチカは、高級スーパー「成城石井」を関西地区で展開する近鉄リテールサービスは、「利用客に女性の富裕層が多く、わが社の客層と合致していた」といい、現在、客1人の購入額は他店より約2割高いという。人気ドーナツ店「クリスピー・クリ

ーム・ドーナツ」も「京都駅でも検討したが、地元利用者が多く、周辺地域が活発化している四条を選んだ」と説明する。

河原町エリアでは7月に商業施設「河原町ビル」が相次いで撤退。その一方、ビジネス街だった四条烏丸は近年、金融再編で空いたビルに高級ブランド品店が進出するケースが目立ち、今月11日には旧UFJ銀行京都支店跡に複合商業ビル「LAQUA(ラクエ) 四条烏丸」がオープンする。

コトチカの活況を府地価調査代表幹事の不動産鑑定士、百合口賢次さんは「従来の中心だった河原町エリアの存在感が低

河原町「沈下」指摘も

下し、四条烏丸地域の人気が相対的に上がった影に響く。消費者にも企業に



首都圏の有名店が出店する「コトチカ四条」の開業効果でにぎわった地下鉄四条駅(2日午前10時40分、京都市下京区)

(竹下大輔)

京都市が観光標識改善へ

きょうの

2010・11・2

標



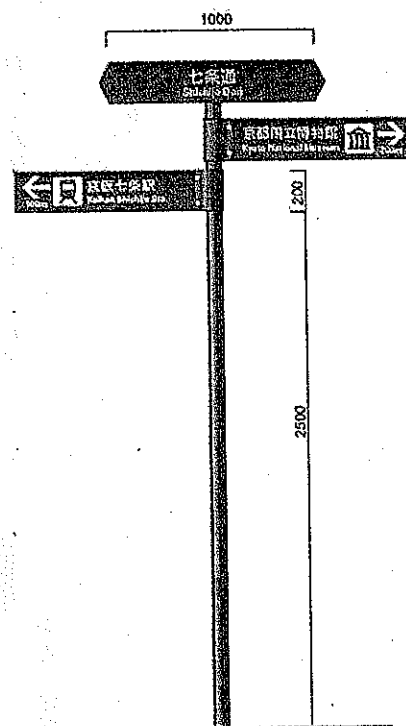
多くの観光標識が設置された南禅寺付近の交差点（左京区で）

国内外から訪れる多くの観光客のため、京都市がシンフルで分かりやすい観光標識の製作に乗り出す。市内には、周辺の地図のほか、観光名所や駅の方向、通りの名前を示すさまざまな観光標識があるが、統一したデザインや表示基準はなく「分かりにくい」との声が上がっていた。市はガイドラインを作り、市民から標識のデザインを募集する。

【田辺佑介】

市内には、市が設置した会社や観光名所が独自に設置したものでも約2200以上設置した標識もある。しかし、上の観光標識があり、鉄道表示方法や設置場所はバラ

設置・表示基準なく不評



検討委員会で示された「通り名」と「誘導」を合わせた標識の例

バラで、情報が多すぎる▽辺の情報を地図で示す「案内」▽有名観光地などの方向を矢印で示す「誘導」▽案内が足りない▽などの、通りの名前を記した「通り名」の3種類に分類。中心課題が浮上。有識者やバス・鉄道事業者らで作る検討委員会が、今年度中にガイドラインや交差点に「案内」や「通

今年度中にガイドライン

市民からデザイン募集

ガイドラインを策定し、標識の「通り名」を設置し、「誘導」種類やエリア別の配置計画は最寄り駅から目的地までの間、表示内容、デザインなどの間の分岐点などに置く。の指針を示すことにした。一方、主要観光地やバス現在までにまとまった方を置く、幹線道路の交差点に「通り名」を設ける。表

示内容についても分かりやすさを重視し、情報が過剰で複雑にならないよう配慮。民間のバスや鉄道事業者にも協力を求める。

市は、ガイドライン案を踏まえ「案内」「誘導」「通り名」のデザインを募集する。市民から意見を聞くパブリックコメントを経て、来年2月に優秀作品を発表

タクシー違法駐停車 四条通渋滞 経済損失 年11億円

京都市は8日までに、客待ちタクシーの違法駐停車などによる四条通（烏丸―四条大橋西詰め、約1.5キロ）の交通渋滞で、年間11億円の損失が生じているとの試算をまとめた。通常3分ほどで済む車の通過時間が渋滞時には最大で4倍近くかかるケースがあり、バスの遅延などにつながる。市は京都府警と協力し、タクシーへの指導強化に乗り出す。

京都市試算

四条通は、6カ所のタクシー乗り場（計29台分）以外での客待ちが禁じられているが、禁止区域での客待ちは後を絶たない。損失額は、市が2008年11月に実施した交通量調査から計算した。1日に延べ約1200台のタクシーが違法駐停車し、車の通過時間は渋滞のない場合（2・9分）に比べ平日は最大10・9分、休日は同11・1分かかる。市は今後、京都市以南で運行する全タクシー連

損失額は、市が2008年11月に実施した交通量調査から計算した。1日に延べ約1200台のタクシーが違法駐停車し、車の通過時間は渋滞のない場合（2・9分）に比べ平日は最大10・9分、休日は同11・1分かかる。市は今後、京都市以南で運行する全タクシー連

転手（約1万4千人）にチラシを配りマナー向上を訴えるとともに、府警と四条通での違法駐停車のタクシーへの指導を強化する。

府警と協力 指導強化へ

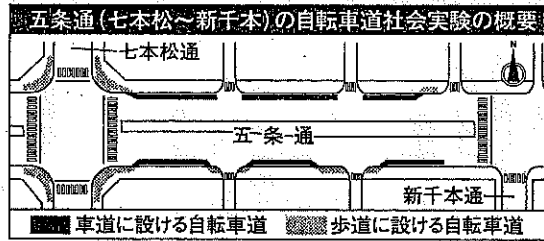


客待ちのタクシーが多い四条通。京都市が渋滞の原因となっているとして改善に乗り出す（8日午後4時8分、中京区四条河原町北西角）＝画像の一部を修整

これに対し、市内のタクシー会社からは利用者への影響を懸念する声がある。あるタクシー会社幹部は「客が禁止区域で手を挙げれば拒否する」と嘆く。（竹下大輔）

自転車と歩行者の事故減願い...

22日から来月3日まで社会実験



五条通 車道一部を専用道に

国土交通省京都国道事務所は9日、京都市下京区の五条通で車道の一部を自転車専用道にする社会実験を行うと発表した。期間は22日から12月3日までの12日間。自転車と歩行者の交通事故は全国的に増える傾向にある

が、車道を使った実験は珍しいという。区間は五条通新千本～七本松の1833メートル。東西に走る片側4車線道路のうち、南北いずれも歩道側の1車線を自転車専用道に転用、車道との間にガードレールを設置する。

五条通七本松の交差点では、歩道部分に赤い線を引いて歩行者と自転車それぞれ利用するスペースを分離する。バス停前には自転車専用道を横切る横断歩道も設ける。

で、同事務所は「自転車と歩行者の事故を減らすためにも、今回の実験結果を役立てたい」と話している。
(高橋晴久)

警察庁のまとめでは、2009年に全国で発生した自転車と歩行者の事故は2934件に上り、10年前(801件)に比べ約3・7倍に増えている。

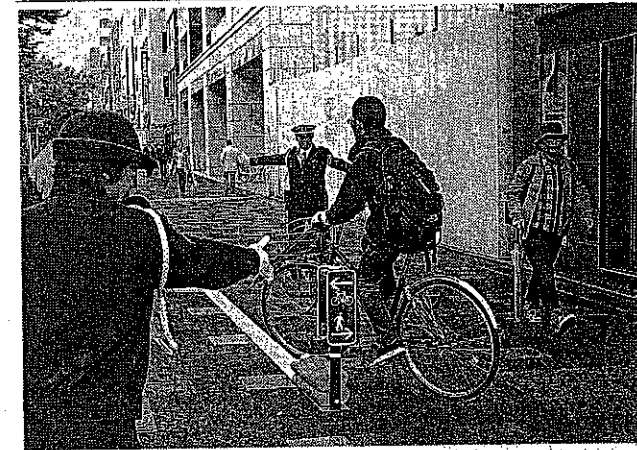
歩行者と自転車 区域分離

御池通で実証実験

市民に「ルール知って」

京都市は12日、歩行者と自転車の通行区域を明確に分離する実証実験を、中京区の御池通(烏丸通―河原町通)で始めた。初日は

市や京都府警が啓発ビラを配り、正しい通行区域を走るよう自転車を誘導した。交通量の多い道路沿いの歩道では、自転車は車道寄りを走行することが道路交通法で定められている。実験は市民にルールを知ってもらったのが狙いで、自転車通行区域を白いテープや案内板で分かりやすく表示した。



自転車通行区域を通るよう指導する警察官
(京都市中京区御池通寺町西入レ)

を走って下さい」と呼び掛けていた。実験は18日までの7日間、午前7時から午後5時まで実施する。
(小野俊介)

実験に関するアンケートも実施し、道路環境の改善など今後の施策に生かしていく。

バス・鉄道自由に利用

京都市がフリーパス発売

京都市は16日、市内の鉄道事業者7社とバス事業者8社と連携し、市内の鉄道とバスを自由に利用することが出来るフリーパスを発売する、と発表した。フリーパスを提示すれば飲食店で料金が割引されるなどの特典もつける。来月11日から市交通局案内所や鉄道主要駅などで販売する。



⇒産経

京都市内のバスや鉄道を自由に利用できるフリーパスとクーポンがついた冊子

京都市が推進する「歩くまち・京都」の一環。フリーパス（1日券2千円）を購入すれば、市営地下鉄や京阪電車、阪急電車などの鉄道や市バスの全線に加え、京都バスなどの一部の区間が乗り放題となる。また、フリーパスや付属のクーポンを提示すれば、加盟する飲食店などの約170店舗で割引などのサービスを受けることができる。

一方、西日本を中心に、主要駅から京都までの鉄道の特急券とセットになる2日券も販売する。

こちらは来月1日から各府県のJRの主要駅で販売する。

市は、清水寺（東山区）や金閣寺（北区）など、市内14カ所の世界遺産巡りなどの観光利用を想定し「多くの方に京都に来ていただき、ゆったりと歩いて回っていただきたい」としている。

市内路線で乗り放題券

京都市 電車・バス、1日2000円

京都市の門川大作市長とバス事業者8社が市内なる乗車券「京都フリーパス」を発売すると発表は16日、鉄道事業者7社に持つ路線が乗り放題に

⇒日経

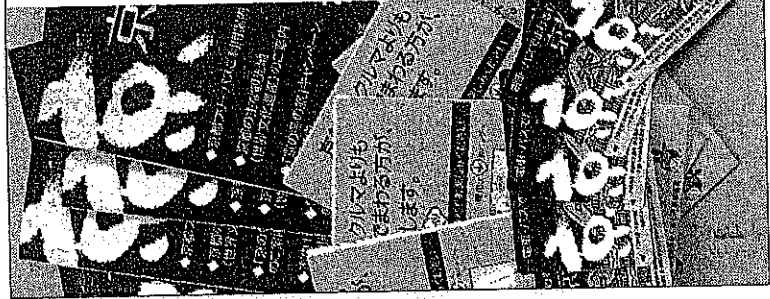
した。市内の観光名所や物販店、飲食店など169カ所で料金割引をはじめとする様々な優待を受けられる特典を付けた。鉄道の主要駅などで12月から販売する。

販売期間は来年3月までとしているが、需要動向次第で4月以降の継続も検討する。

乗車券は「1日フリー版」と「2日フリー版」の2種類を用意。2日フリー版は金沢出発が1万3900円、福岡市内出発が2万8500円など。

フリーパスの利用者には世界文化遺産の二条城に100円引きで入城できるなどの特典を設ける。高島屋京都店や大丸京都店などの主要な百貨店では、店内の一部の喫茶店やレストランの飲食代が1割引きになる。

「JRを降りて京都市内はすべての電車、バスが乗り放題の「京都フリーパス」



市内の電車やバス ほぼ乗り放題

市と私鉄など15者スクラム 京都フリーパス来月発売

京都市は16日、JRなどを除く市内ほぼすべての電車やバスが乗り放題となる「京都フリーパス」を12月に販売開始すると発表した。市内で取り扱う1日券は2千円で、観光

施設の入場料割引などの特典も付く。

市が15の交通事業者に呼び掛け、共同発売する。市内全域で利用できるフリーパスの販売は初めて。

対象区間は市営地下鉄、叡山電車、嵐電の全線のほか、京阪は出町柳―中書島、阪急は河原町―洛西口と桂―嵐山、近鉄は京都―向島など。バスは一部を除き全域で使える。

二条城などの入場料割引、飲食店でのドリンクサービスなど169施設・店舗で優待が受けられる。1日券は、12月11日から京

都駅など市内主要駅で販売する。

2日券もあるが、京阪神エリアや滋賀、奈良を除く近畿以西と北陸の各地方のJR主要駅で1日から京都までの往復券とセット販売

する。使用期間は、2日券とも12月11日から来年3月23日。

JRは地下鉄や私鉄各社と改札システムが異なるため1日券は使えず、従来の観光周遊切符を発展させた2日券のみ対象となる。門川大作市長は会見で「(JR西とは)新たな進化のため協議したい」と述べ、1日券でもJR線が使えるよう求めていく考えを示した。(竹下大輔)

烏丸線 烏丸御池 東西線 乗り継ぎ客ターゲット 駅ナカ出店



カフェやコンビニの出店が予定されている烏丸御池駅構内(京都市中京区)

改札内にカフェ、コンビニ

京都市営地下鉄の烏丸線と東西線の乗換駅「烏丸御池駅」(中京区)にカフェとコンビニが出店することになった。改札内に店舗を設けるため、改札口を出すに利用できる。市交通局では、乗り継ぎ客をターゲットに来年5月の開店を目指している。

来年5月開店目指す

烏丸御池駅の昨年度 募ったところ、5社かの利用客数は1日当たりに希望があり、18日まわり1万8千人と地下鉄でにカフェとコンビニ駅では4番目だが、改の2店舗の進出が内定札口を通らない乗り換した。

え客を含めると7万人。トップの京都駅5万2千人、2位の四條駅4万2千人より多く、地下鉄の増客対策の一環で出店を決めた。場所は北改札口付近で、市交通局が出店を待てるという。

市交通局が増客に向け力を入れている「駅ナカビジネス」としては、京都、四條に続き3駅目。特に四條駅で10月に開業した「コトチカ四條」は好調で利用客増に著実に効果が出ていることから、烏丸御池での展開にも期待が集まる。

市は11月市会へ駅改修費9500万円を含む補正予算案を提案する方針で、テナント収入で年間2千万円を見込んでいます。今後、人通りの多い烏丸線と東西線の連絡通路スペースも有効利用していく方針で、交通局は「乗換駅の強みを生かし、店舗の増設を積極的に進めていきたい」としている。

(竹下大輔)

コトチカ人気

開業から1カ月半以上たった今
なお、コンコースに連日、長蛇の
列が出来るのは驚く。

10月1日に京都市営地下鉄四
条駅構内にオープンした「コトチカ
四条」は、首都圏で人気のドーナ
ツ店や高級スーパーなど京都初進
出を含む8店舗が入る。集客効果
は大きく、10月の

四条駅の1日平均
乗降客数は、昨年
同期比で約4千人

(5・3%)も増えた。滑り出し
は上々と言えよう。

市は来年5月にも、烏丸御池駅
の改札内にカフェとコンビニを進
出させ、「二匹目のどじょう」を
狙う。地下鉄のホームや構内には、
かつてはなかった飲料自販機も目
立つ。

なりふり構わぬとも見える増収
への取り組みは、市営地下鉄の経
営がいかに危機的かを物語る。

2009年度の地下鉄収支をみ

地下鉄再生への一歩に

ると、262億円の収入の一方、
人件費や諸経費は125億円。し
かし、東西線建設に伴う5千億円
もの企業債の利払いや減価償却費
が254億円に達し、差し引き1
17億円の赤字を積み上げた。
こうした状況から、市営地下鉄
事業は昨年、経営健全化団体に転
落した。事実上の経営破綻といえ
る。市は今年2月、高速鉄道事業
経営健全化計画を策定、本腰を入
れた再建に取りかかった。

計画では、人件費など大幅なコ
スト削減の一方、増収策の柱とし
ているのがコトチカなど「駅ナカ
ビジネス」の拡大だ。市は年5億
円の増収を見込む。

さまざまな方策が目指すのは結
局、地下鉄の利用客増だ。これが
健全化の成否の鍵を握る。利便性
向上やマイカーからのシフトで、
門川大作市長は1日当たり利用客
数の5万人増と年33億円の増収を
目標に掲げる。

PR強化やダイヤ改正が奏功し
たのか、本年度上半期の利用客数
は1日約33万6千人で、昨年を4
千人ほど上回った。下半期はコト
チカ効果も見込めよう。

計算では、市民が月に1往復多
く乗れば「5万人増」を達成でき
る。健全化を軌道に乗せるには、
市民の理解と共感が不可欠だ。

それにはまず、市側が身を切る
覚悟でコスト削減の実を挙げねば
ならない。市は本年度の運賃値上
げを見送ったが、

健全化計画は5%
のアップを織り込
んでいる。運賃に

手を付けるのは最後だろう。
烏丸線、東西線の地下鉄2路線
は、総額8500億円をつぎ込ん
だ京都市民の貴重な財産だ。健全
化計画の失敗は許されない。

明るい兆しもある。地下鉄は昨
年度、減価償却費を除いた現金収
支が初めて黒字化した。巨額の負
債の返済は容易でないが、コトチ
カのような成功を積み重ねつつ、
市民が危機感を共有し、皆で支え
る機運を醸成せねばならない。

地下鉄増客だし良好



経営難から健全化団体に転落した京都市営地下鉄。本年度上半期の利用は好調で、計画以上に乗客数が伸びている(京都市中京区・烏丸線烏丸御池駅)

京都市上半期

計画は回る1日3800人増

京都市交通局は、市営地下鉄などの影響で振るわなかった昨年度より1千人増の実績をまとめた。健全化計画策定後の半年で、1日平均乗客数は昨年同期に比べ約4千人増の約33万6千人と計画値を3千人上回り、目標の5万人増へ向け順調な滑り出しとなった。市のイベントを沿線で集中開催するなど増客対策の効果が目撃されている。

地下鉄は1日3200万円の赤字が発生するなど厳しい経営が続く。昨年度に自主再建が義務付けられる健全化団体に指定された。これを受け、2018年度までに1日平均乗客数5万人増を中心とした健全化計画を3月に策定した。

本年度の1日平均乗客数目標を新型インフルエン

京都市交通局は、市営地下鉄などの影響で振るわなかった昨年度より1千人増の実績をまとめた。健全化計画策定後の半年で、1日平均乗客数は昨年同期に比べ約4千人増の約33万6千人と計画値を3千人上回り、目標の5万人増へ向け順調な滑り出しとなった。市のイベントを沿線で集中開催するなど増客対策の効果が目撃されている。

地下鉄は1日3200万円の赤字が発生するなど厳しい経営が続く。昨年度に自主再建が義務付けられる健全化団体に指定された。これを受け、2018年度までに1日平均乗客数5万人増を中心とした健全化計画を3月に策定した。

本年度の1日平均乗客数目標を新型インフルエン

沿線イベントなど効果

利用を徹底した。健全化団体指定で厳しい経営実態が周知され民間の協力が得られたことも一因となった。

しかし、下半期の見通しは不透明で、計画で13年度まで前年度比「1千人増」の低い目標を設定しているが、14年度以降に同8千、1万の低い目標を掲げる。本年度目標をクリアしても5万人増への道のりは険しい。

10月に烏丸線四條駅に商業施設「コトチカ四條」がオープンしたほか、右京区の山ノ内浄水場への大学誘致の方針がまとまるなど増客に向けた試みを相次いで打ち出している。交通局の葛西宗久公営企業管理者は、「いいスタートが切れたが、抜本改革に向けて取り組みは始まったばかり。今後とも油断せず新たな増客策を展開する」と話している。

(竹下大輔)

違法駐車タクシー 京から一掃

京都市内の中心部の四条通で、タクシーの違法駐停車で慢性的に発生する交通渋滞を解消するため、京都市と京都府警は、市内のタクシー運転手約1万4千人を対象に違法駐停車の意識アンケートを行っている。「タクシー乗り場以外の客待ちは違法ですが、にきびですか」などと質問し、違法性を強く認識させるのが狙い。市の調査で渋滞による経済損失が年間約11億円にのぼることも判明。秋の観光シーズンを迎え、関係者は「京の町から違法タクシーを一掃したい」と期待をよめる。

四条通 運転手にアンケート

アンケートは、違法駐停車による交通渋滞で年間約11億円の経済損失が出ているとの市の平成20年の調査結果を受け、京都大学大学院の藤井聡教授（都市社会学）が考案。今年8月に市や府警、業界団体などでつくる「京都市タクシー駐停車マナー向上マネジメント会議」で提案した。

烏丸通から山端通まで東西約1キロの四条通が調査対象区域。市内のタクシー会社などに登録するタクシー運転手約1万4千人を対象に実施する。

意識改革狙う

アンケートは、回答を進めるうちに運転手が自発的に駐停車などのマナー違反を犯さないように動機づける「モトリティ・マネジメント」の手法を採用。

約20の質問に匿名で答える方式で、年齢や業務履歴をはじめ、四条通にある6カ所のタクシー乗り場の位置の熟知度をほめる設問のほか、「タクシー乗り場以外

Q 乗り場以外で客待ちダメ、ご存じですか

外での客待ちは違法ですが、「にきびですか」などと違法性を語問で問う項目なども設けられている。

また、交差点内やバス乗り場前での利用客の乗降について、今後このように行動するかという問いもある。

業界団体を通じてアンケート用紙を対象の運転手に配り、年内をめどに回収。来年1月に分析結果を公表することになっている。

豪なごで成果

藤井教授によると、2000～05年にオーストラリアなどで回収のアンケートを実施したところ、公共交通機関の利用が促進され、交通渋滞が解消された成果が報告されているという。

藤井教授は「多くのタクシー運転手が軽い気持ちで違法駐停車をしているが、そのことが大きな経済損失を招いていることに気づいていない。アンケートを通じて問題意識を持つしてほしい」と話している。

主な鉄道・バスが乗り降り自由

フリーパスと、観光地を紹介する冊子など「中京区で



京都フリーパス発売

観光客数が落ち込む冬のシーズンに向け、京都市などは、市内の主な鉄道やバスが乗り降り自由となる「電車・バスでまわる『歩くまち・京都』」京都フリーパスを発売する。市内のほぼ全域で使えるフリーパスは初めて。観光施設や店舗で割引を受けられる特典もある。

市内の主なバス8社と市営地下鉄、私鉄5社で使用できる1日版のフリーパスは2000円。京都駅前にある市交通局の案内所や阪急河原町駅な

冬の観光客対策に 初の市内ほぼ全域

市ど
京な

どで12月11日から発売する。2日フリー版は、JR線の出発地から京都駅までの往復乗車券と特急券、フリーパス2日分のセットで、料金は出発地ごとに設定される。市内のJR線も自由に乗降でき、JR西日本とJR四国の主要駅にあるみどりの窓口で、12月1日から販売する。

いずれも、観光地や施設を紹介する冊子と、公共交通機関で観光地を巡るためのマップ付き。有効期間は12月11日から来年3月23日まで。

【田辺佑介】

主な電車・バス 乗り降り自由

京都フリーパス 1日乗車券発売

京都市は、市営地下鉄や市バス、私鉄など、JRを除くほとんどの公共交通機関と提携し、市内で自由に乗り降りができる観光向けの「京都フリーパス」を2千円（1日券）で発売する。パスを提示すれば観光施設や百貨店などでの割引特典もある。発売・有効期間は11月～来年3月23日。

公共交通機関の利用促進や交通渋滞の解消がねらい。利用できる電車は、市営地下鉄や叡山電車、京福電車（嵐電）の全線、阪急の一部区間（河原町～洛西口駅、桂～嵐山駅）など。市バス全線と、京都バスや京阪バスでも利用できる。観光の名所や施設などを紹介する案内冊子と、公共交通で回る観光マップもあ

わせて配る。

例えば、京都駅を出発点に金閣寺から嵐山付近、二条城、平安神宮付近、銀閣寺を経て八坂神社、清水寺などを

巡るモデルコースの場合、通常の運賃は2420円かかる。フリーパスは2千円で済み、二条城や京都市美術館、明治の元老・山県有朋の別荘だった無鄰菴の入場料がそれぞれ100円割引になる。

（岡見理沙）

紅葉シーズン

地下鉄乗客7.5%増

京都市営 商業施設の開業効果

京都市交通局は3日、11月下旬の秋の観光シーズンにおける市営地下鉄駅の乗降客数(速報値)を公表した。1日平均64万1800人と前年同期より7.5%増加し、同局はパークアンドライドの普及や烏丸線沿線で集客施設の開業が相次いだ効果とみている。

調査は11月20日から28日までの土日祝日5日間実施し、特に、伸びが顕著だったのは烏丸線で9.2%増の1日平均37万2800人。沿線では今秋、駅ナカ商業施設「コトチカ四条」やヨドバシカメラなどが次々に開業し、乗降客数をけん引したとみている。東西線も5.4%増の同26万8900人だった。交通局は、周辺部に駐車場を設けて公共交通利用を促す「パークアンドライド」が浸透しつつあるとみており、「交通渋滞も緩和され、バスタイヤに例年ほどの乱れがなかった」としている。

(竹下大輔)

四条通で駐輪場実験

京都市は4、26日の土日祝日9日間、下京区の四条通近くに臨時駐輪場を設け、マイカー流入の抑制効果を検証する社会実験を行う。

京都市

市は四条通の歩道拡幅を計画し、影響を調べるため、来年3月まで断続的にさまざまな実験を予定している。今回は臨時駐輪場を設けて利用実績を調べ、渋滞解消につな

きょうから マイカー抑制なるか

る駐輪場整備の方向性を探る。

臨時駐輪場を下京区柳馬場通四条下ルの京都信用金庫本店に設置。社員用駐車場を100台分の駐輪場スペースとして確保する。

料金は1回150円で、利用時間は午前9時～午後8時。問い合わせは市自転車政策課2075(222)3565。

(竹下大輔)

京のタクシーマナー守ります

京都市や京都府警などつくる「タクシー駐停車マナー向上マネジメント会議」が3日、京都市下京区の四条通でタクシーの違法駐停車防止を訴える街頭パレードを行った写真。

四条通ではタクシー乗り場

違法駐停車防止へパレード

以外の客待ちは禁止だが、違法駐停車があとを絶たず、渋滞原因となっている。

パレードにはタクシー業界や商店街関係者から約120人が参加。「京のタクシーはマナーを守る」と記した横断幕を掲げ、四条通を河原町通

から烏丸通まで、約30分間、行進した。
(竹下大輔)



「歩くまち・京都」実現へ

車の通り抜け控えて 市、四条通で社会実験

京都市中心部の烏丸通―河原町通間の四条通での車の通行量を減らすこと、市は7日、四条通の通り抜けを控えるよう呼びかける看板を設置した。市が進める「歩くまち・京都」実現のため、28日まで期間限定の社会実験として実施。放置自転車対策として臨時駐輪場も設けており、歩行者優先のまちづくりの方策を採る。

四条通、河原町通、御池通、烏丸通に囲まれたエリア「歴史的都市地区」の混雑を緩和するため、四条通の通行自粛を呼びかける。設置した看板には「車で四条通の通り抜けは控えて下さい」と書かれ、同エリアにつながる主要交差点13カ所に掲示した。

今回の社会実験ではまた、今月の土曜、日曜、祝日に、四条通沿いの京都信用金庫本店敷地を借りて臨時の駐輪場を開設している。午前9時〜午後8時で1回150円。100台を収容できる。

市は、実験で車や放置自転車の数の変化などのデータを取って今後の施策に生かす方針。担当者は「実験を今後に役立て、歩いて楽しいまちを実現したい」としている。

四条通の通り抜けを控えるよう呼びかける看板
―京都市中京区の河原町御池交差点





四条通のタクシー

客待ち渋滞損失11億円

慢性的な交通渋滞に悩む京都市中心部の四条通で、違法な客待ちタクシーの駐停車などによる損失が、年間11億円にのぼると京都市が試算した。市はタクシー運転手を対象に、駐停車マナーについての意識調査を実施。乗り場以外での客待ちが違法であると調査で訴え、マナー向上を図る。

(岡見理沙)

小売店や飲食店などが立ち並ぶ四条通(川端通―烏丸通)の東西約1・1kmの区間は、6カ所のタクシー乗り場が設定され、それ以外の場所での駐停車が禁止されている。しかし、バス乗り場や交差点内などで客待ちする違法駐車タクシーが目立っている。

大丸近くの交差点で客待ちをしていた男性タクシー運転手(66)は「いかなことは分かっているが、不景気で車を流しても客はつかまらない。確実に乗ってくれるよう待つし

す」
タクシー乗り場以外での客待ちが目立つ四条通(下京区) (画像を一部加工しています)

京都市、運転手に意識調査

「かない」と話した。市は、客待ちタクシーが多いため車の流れが遅くなり、通常は2〜3分で通過できる距離も10分以上かかっている」と試算。現場を通る車の時間のロスを図交省の算式で換算すると、四条通の違法駐車による損失は年間で11億円にのぼるとした。

今回の意識調査は、府警、京都運輸支局と共同で20日まで実施。市内で営業するタクシー運転手約1万4千人を対象に、タクシー会社や個人タクシーの組合を通じて調査用紙を配布した。

「交差点内やバス乗り場前で利用客の乗降をしたり、タクシー乗り場以外で客待ちをしたりすることは、道路交通法上『違法』であることを知っているか？」などの質問を設定。違法駐車に対する意識を聞いた上で、「タクシー乗り場以外での利用客の乗降についてどうしようと思いますか」などと聞き、アンケートに答えることで運転手が自発的に駐停車マナーの向上を図るよう促している。

「駅ナカ」熱視線

京都市が、巨額の赤字を抱える地下鉄事業で「駅ナカビジネス」に力を入れている。今秋の四条駅に続き、来春には烏丸御池駅で整備を進め、古都の玄関口・京都駅のリニューアルにも乗り出す考えだ。新たな収入源は赤字解消につながるのか。市民からは「そもそも運賃が高い」と不満の声も上がる。(岡見理沙)



来春、コンビニやカフェが開業する烏丸御池駅の改札口。京都市の「駅ナカビジネス」がにぎわいを生むか＝14日夜、中京区

赤字解消なるか

店舗・カフェ充実 京都市

■目標5億円

1981年開業の地下鉄事業は巨額の建設費がかさみ、累積赤字は昨年度決算で約3193億円に達した。自治体財政健全化法が定める財政指標を大きく上回り、市は経営健全化計画を策定。1日の利用客を現在の約33万人からさらに5万人増やす目標を掲げた。その柱として、駅に商業施設を誘致し、テナント料を稼ぐ「駅ナカビジネス」を据え、2013年度までに年5億円の収入を上げるとした。まずは今年10月、四条駅(下京区)に「コトチカ四条」を開業させた。駅の通路や機械室などの空間を約5億円かけて改修。高級スーパー「成城石井」など8店舗をそろえた。京都初出店のドーナ

ツ店「クリスピー・クリーム・ドーナツ」は連日、長蛇の列でにぎわう。市は年1億円のテナント料を見込む。

■狙いは女性

20～40代の女性客をねらった空間作りがあった。四条駅の10月の1日平均乗降客は、前年同月比で約4千人増の8万1千人という。京都一の繁華街の一角でもあり、滑り出しは順調なようだ。

来春5月には、次駅の烏丸御池駅(中京区)の改札口にコンビニエンスストアとカフェを開業させ、市は年2千万円の賃料収入を見込む。烏丸線と東西線の乗換駅は1日7万人が利用する。駅で待ち合わせをしていた伏見区の女性看護師(60)は「スペースが空いているのはもったいない。周辺のオフィス街にない店ができれば利用したい。でも、そもそも地下鉄は運賃が高くて、使いづらい」と話す。さらに市は、乗降客が最も多い京都駅を「重要拠点」と位置づけ、地下街ポルタなど周辺施設の関係者と改修に向けて協議を始めた。81年の烏丸線開通以来、京都駅の本格的な改修は初めてとなる。市交通局の担当者は「駅ナカビジネスだけでは経営の健全化は難しい。乗降客数を増やし、補充関係で収入を増やしたい」と話している。

洛西のバス利用でクーポン券

商業施設で
割り引き

京都市西京区洛西地域での公共交通機関利用促進のため、市などが、地域の商業施設で料金やサービスの割引などが受けられるクーポン券を発行した。市

域バス共通回数券を同地域の指定販売所で購入するとクーポン券をもらえる。

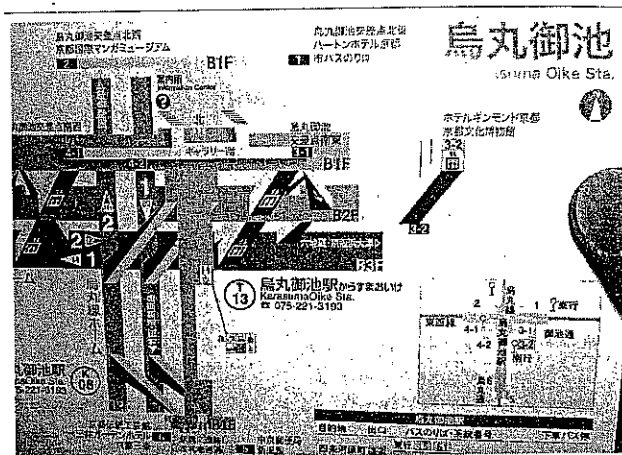
市と洛西地域で運行するバス事業者4社、商業施設が連携し、1月に策定した「歩くまち・京都」総合交通戦略の一環でつくった。指定販売所は市交通局洛西営業所、ラクセーナ専門店インフォメーシ

ョン、デイリーカーナートイズミヤ桂坂店など洛西地域の計6カ所。地域の量販店や専門店、入浴施設など計15カ所で、買い物やサービスの総額から割引を受けられたり、優待券をもらえる。利用期限は来年3月31日。市歩

くまち京都推進室2075(222)3483。(山田修裕)



市や洛西地域のバス事業者4社、商業施設が発行したクーポン



京都市交通局が配布している「京都らくらく乗換マップ」

バリアフリー一目で

京都地下鉄でイラスト地図

京都市交通局は、市

営地下鉄の主要駅のバ

リアフリー情報が立体

イラストで分かりやす

く掲載された「京都ら

らく乗換マップ」を

3万部作製し、31ある

地下鉄全駅で配布して

を掲載。

烏丸線のホームは緑

色、東西線はオレンジ

色で色分けし、エレベ

ーターやエスカレータ

ーがホームのどの位置

にあるかが一目で分か

る。段差のない出入り

口は黄色で示し、ホー

ムから目的の出口まで

迷わずに行けるよう工

夫した。

大阪市のNPO法人

「まちの案内推進ネッ

ト」が製作に協力。同

ネットは「駅の方向表

示などは健常者の視点

でつくられ、障害者ら

への配慮が足りない」

として06年、大阪市営

地下鉄のバリアフリー

情報をホームページ上

で公開した。現在は名

古屋や神戸など全国9

都市の地下鉄計727

駅を網羅している。

96